KODAK Gray Scale
Kodak
LICENSED PRODUCT

ヲ 9
3865
1

和装本

門 ヲ99
號 3865
卷 1

玄玄齋主人纂。附卷局機　共四本

圖碁定石集
四十番碁立

嚮小板華選粹類聚の二書世に行はれ今また
秘伝を引くるも茅塞碁の定石集ともいふべき
上梓を是れ楷模とし有志君子二書を
よくよく上達さんこそ願ふなり

青黎閣發兌

意をよく賜
一の書肆書藤[illegible]の意[illegible]形[illegible]者[illegible]て[illegible]謂て
[illegible]碁[illegible]夫[illegible]探[illegible]而[illegible]抜萃[illegible]釋又
加[illegible]の[illegible]
[illegible]一歩[illegible]進めんと欲ふ乃工夫を助ふ而の
もの[illegible]
[illegible]因て今又定石と石立とを編て見と
棒に成ば何れ初学は先のこと何[illegible]
後の編集小伎[illegible]
信下よ美[illegible]人[illegible]楽[illegible]
松の間に永く千載[illegible]
[illegible]
編選すると雖彼を[illegible]ハ必迫[illegible]

刈始みし数十式を以て是ハ大抵今世に用ゆる所乃
渭の流石といふものを次て四十萬碁盤に於て
昔実石井出信なる碁聖いへる者ありし人さの四
十萬碁の徳ならん迚謀よりて掘り迚ハ掘めハ其
山必輝といへるかき石を以て其福眞愚かき
ものの如海記ものよりの書別名師五代目名人本因
庵三智と横地と申也ハ北斗と四川よりハ上の石を
なをハ名川を以て八井目と迚いへる此四川の
石を知りて是を用ゆる時ハ大やう遠さる故
きるへ一般なる今まで名碁盤の中を五川の
石を以て名川の石を以て掘ハ又他を掘る後に出
ハ此四十萬碁の石を擬きハ其

角ばる石の里ハ方ものを知ん也いまゆる蛇を西て是ハ海
といふものなり此の方ものを辞ものを知ハ別に書を編集ものの方ものといふ
局機と頻そうしさる二の碁乃石を一碁に是を
ハ行集と掘ること知ものなりさ故二の石を要記
時ハ先の碁ものも又二川四川と利ハ上の碁盤ものも其
石を用ることきハあるといふものも又をもしと
思ふ方ものハ掘を未だ詳ものハ

壬子孟春　三谷齋主人識

碁の手わ乃事

一　定の手わといふハ位ハ九段ゟ下迄名人ゟ名人
上手ゟ百ひの手わゟ上手の手わといふ所ゟ五目
目下をいふ名人の手真てといふ

一　名人といふハ位九段形勢名人上手ゟ百ひの手わと
いふハ位八段ゟ是を世ゟ名人といふを云也
ゟ百ひの手わと云ハ上手といふハ位七段ゟ
ゟ五目ゟ下ゟ指の手真てと云ハ名人
弟子ての手わゟ定ハ位ハ段形勢
ゟの上手ゟ弟子ての手わゟ名人ゟ定ハ
ゟ百ひの手なゟと云て何段といふ
定まてゟ名人初ハ二段と段ゟ名人ゟ

なハ是ゟ定ゟ名人ゟ段ゟ名人ゟ段ゟ
段ゟ弟子ゟ段ゟ三段ゟ段ゟ段ゟ段ゟ
別初ゟ段ゟ段ゟ段ゟ段ゟ段ゟ段ゟ
段ゟ名人ハ上手ゟ先段ゟ段ゟ
段ゟ又上手ゟ段ゟ段ゟ段ゟ段ゟ
二ゟ三ゟ段ゟ段ゟ段ゟ段ゟ段ゟ
段ゟ段ゟ利是ゟ段ゟ段ゟ段ゟ
四段定ゟ先ハ五段ゟ先ハ段ゟ段ゟ
段ゟ一段ゟ段ハ段ゟ段ゟ段ゟ

碁の用ゟ言葉ゟ字

幹（ワリヽス）　立（タツ）　提（トル）　約（ツナヽル）　斷（ダヽキル）　冲（ワリコム）　割（ツヽキコム）　撲（ウチコム）

盤打（ワタル）　出（イヅル）　覷（ノゾク）　赶（ヲス）　勒（メカク）　門（アレタ）　劫（コウ）

夾（ハサム）　點（カカテ）　征（シチヤウ）　逼（セメル）　飛（トブ）　尖（コスム）　綿（ノキカケル）　持（セキ）

行（イヒル）　斜（タイヤ）　走（ハナサン）　三花聚（サンモク）　四花聚（ハナヒモク）　五六モ同シ

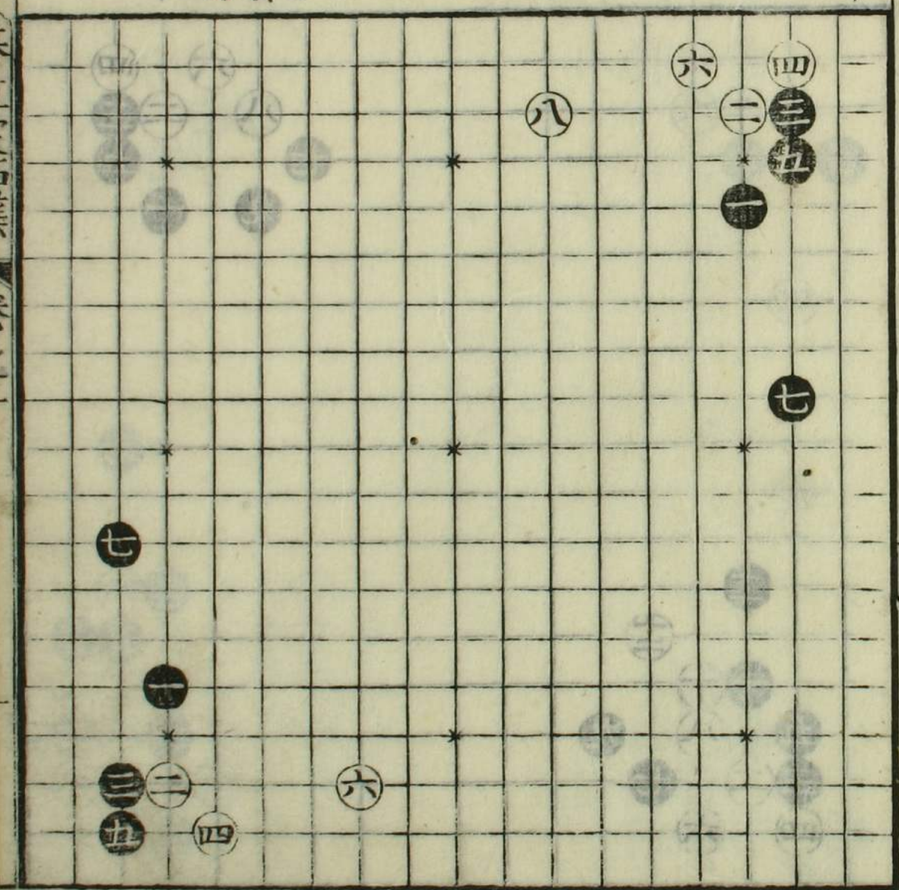
角曲（コウヅクシ）四

此方ニテ持碁ト云ハ節（イゴ）ノ字ヲ用ユヘシ

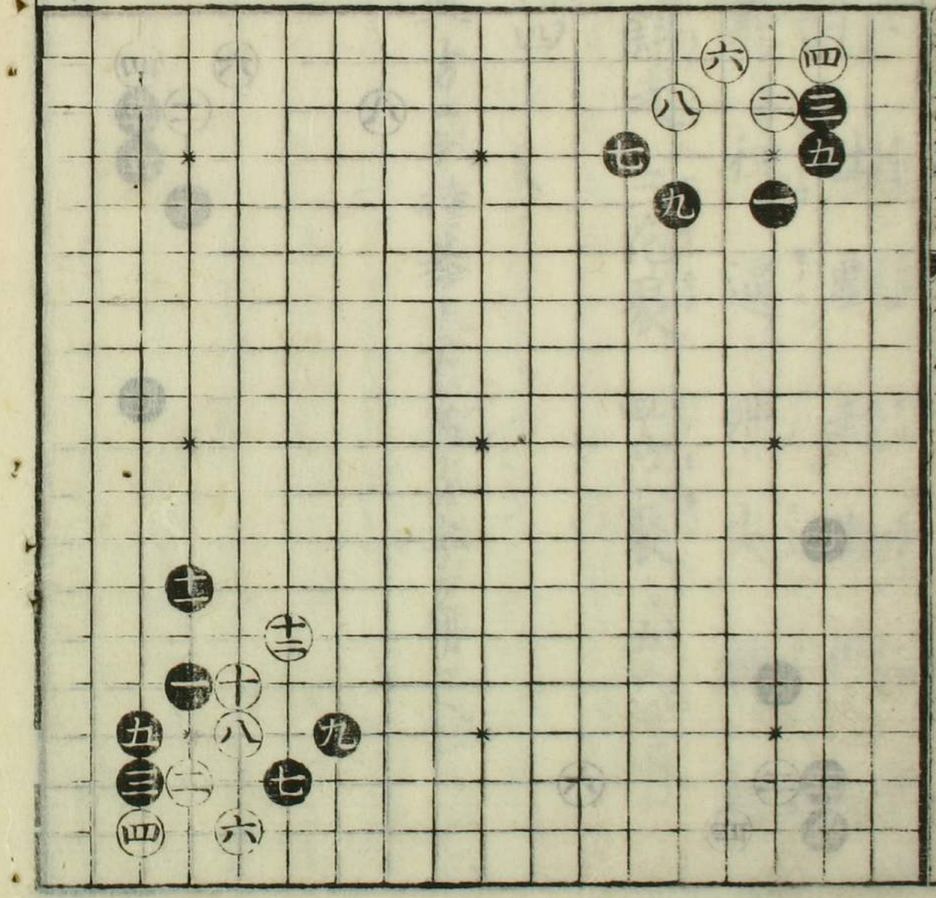
先隅之定石之部

此角大目定石多クハ兩方トモ如此打事吉色々打カタ末ニ出之

此角四トコスム手多クハ不好處ニヨル

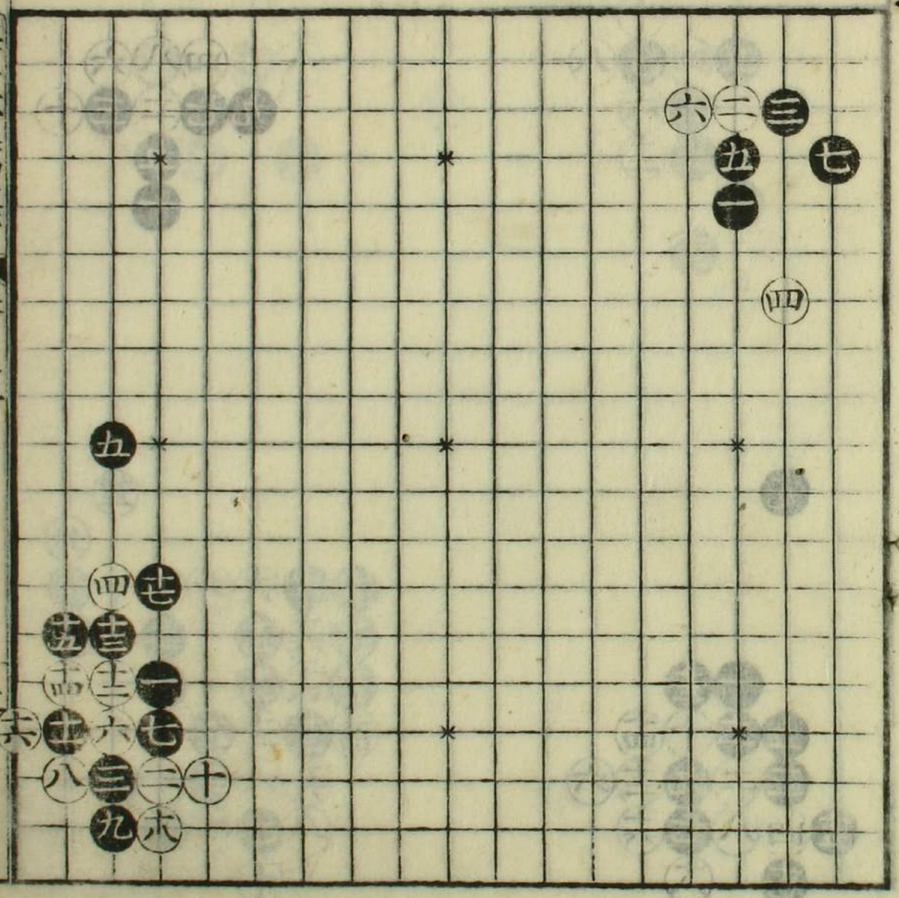


此角七ト打ツモアリ黒位ヲトル石立ナリ所ニヨリ面白シ



此角七ト打ツ處ニヨリ白ヲセル心持ニテ面白シ

此角三ト付ルトキ四トウツ事モアリ所ニヨルヘシ



此角黒ヨリ五トカマハス事モアリ色々打カタ未ニ出之

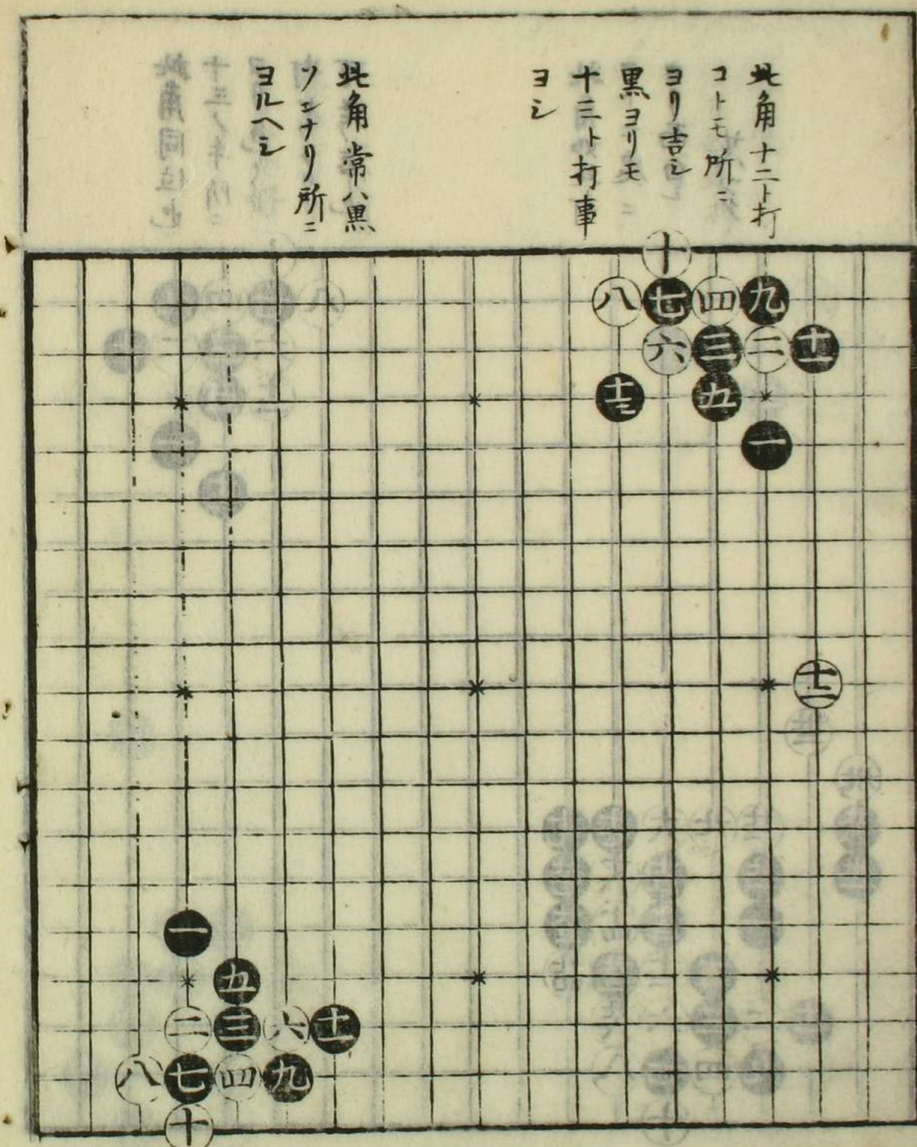
此角トコロニヨリ如是打コトモ有

此角六ト二間飛事モアリ多クハ不好

此角同位也十三ノ手所ニヨリ色〻打ヤウアリ可考事也

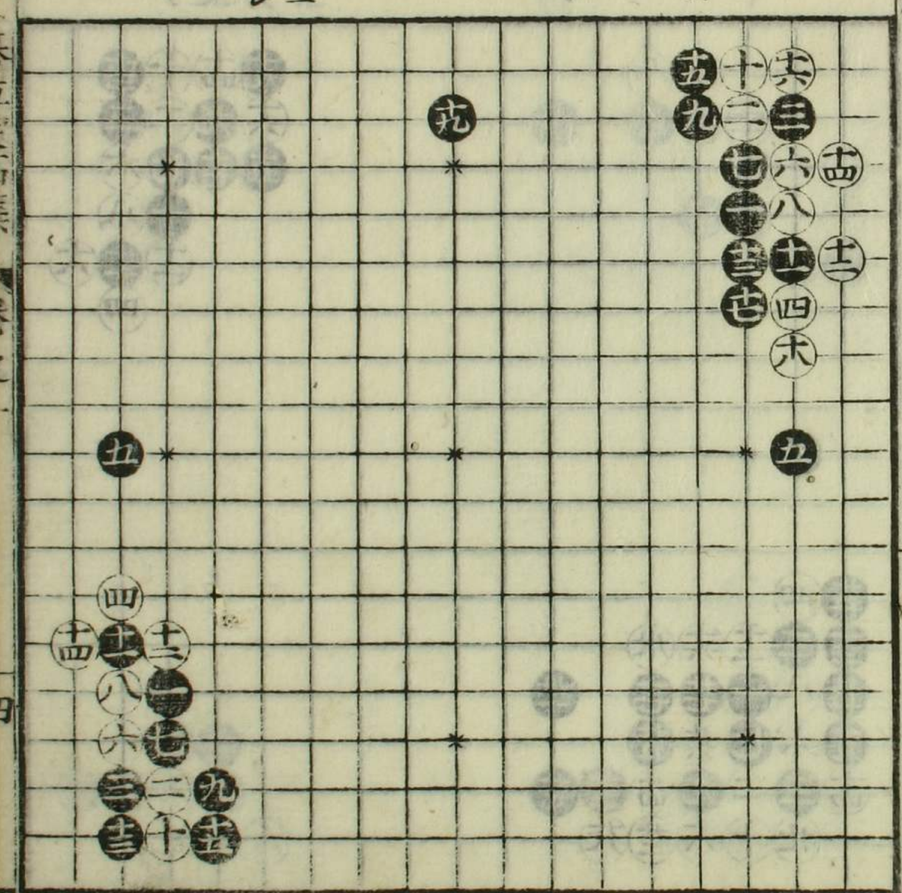
此角如此打コトモ處ニヨリ面白シ

此角十二ト打コトモ所ニヨリ吉シ
黒ヨリモ十三ト打事ヨシ



此角常ハ黒ノ所ニヨルヘシ

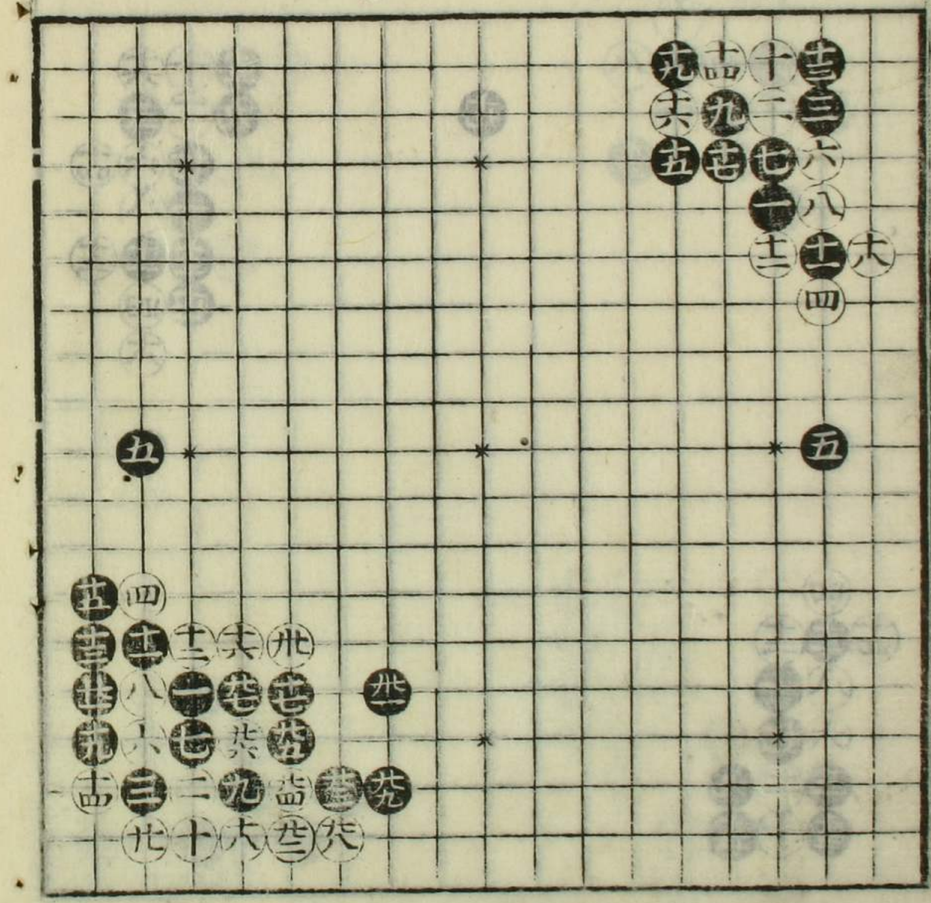
此角同位也マツハ白不好石立ナリ



此角同位十三ト取手スコシ不面白

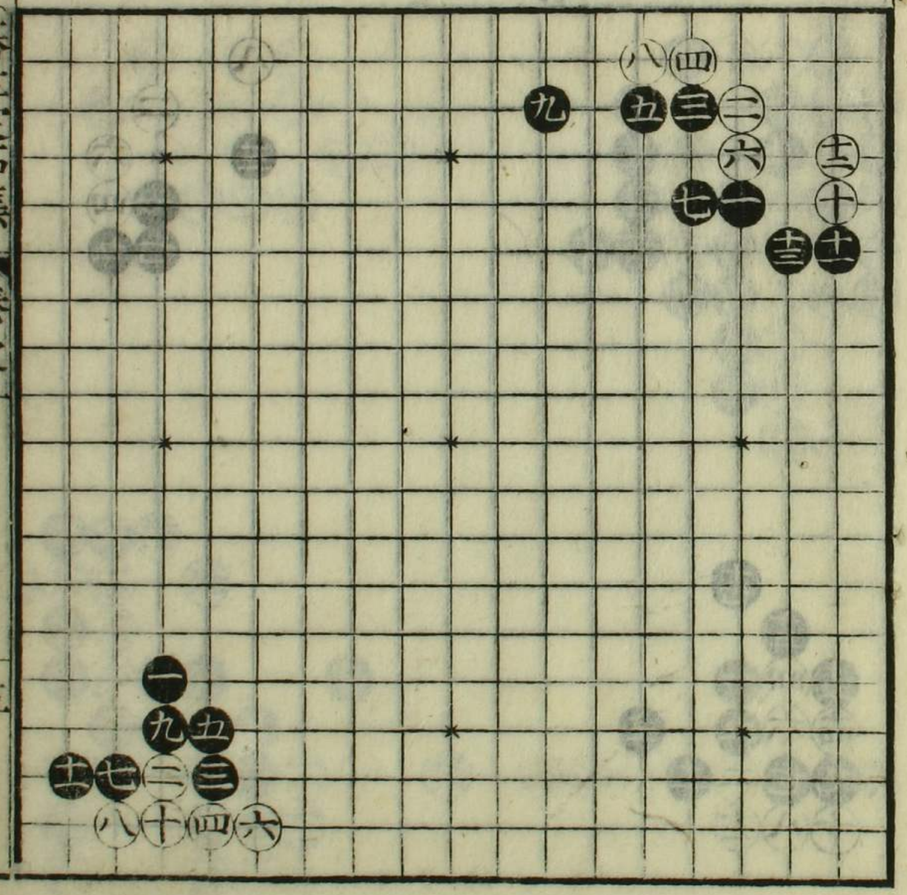
此角十四手アシヽ大損ニ故ニ印置

此角黒ノ方面白シ



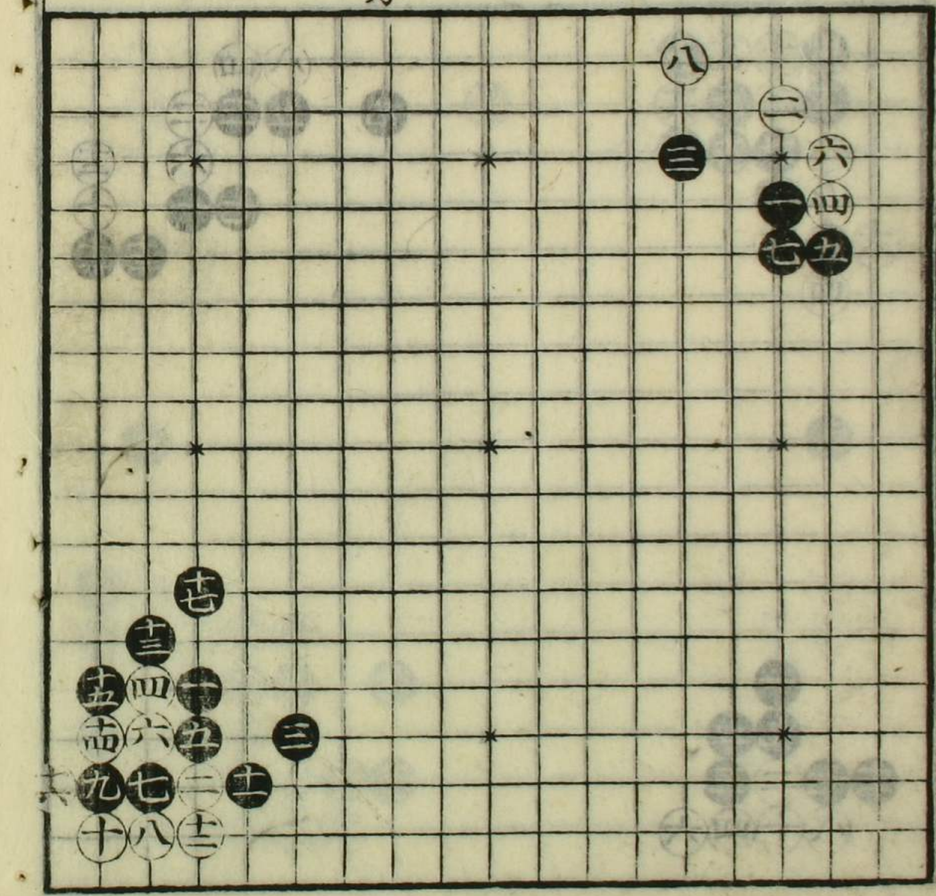
此角所ニ寄可打多クハ不好コト也

此角六ト七ル手多クウタヌ変也所ニヨルヘシ



此スミ三ノ手多クハ不好所ニヨル

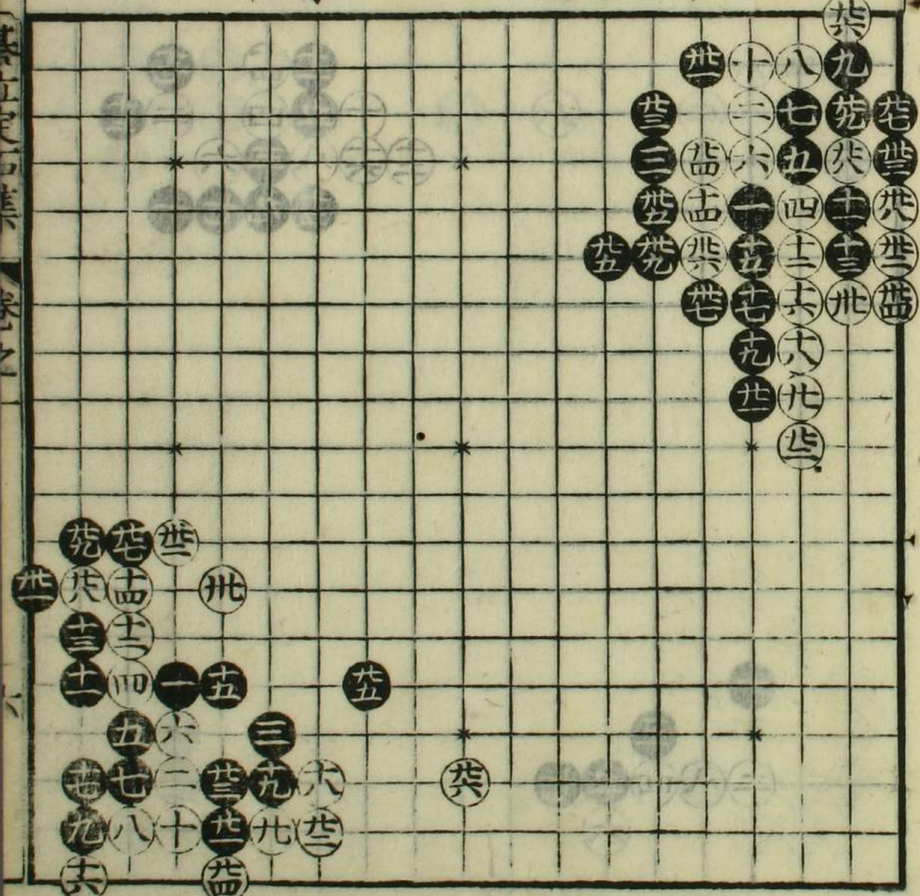
此角黒不好所ニ寄ヘシ



四十上ル
四十一上ル

此角多ハ黒アシヽ併如是ナル時ハ白悪シ十四上ハ予出ス故ナリ

此角如是打トキハ白位ヨシ



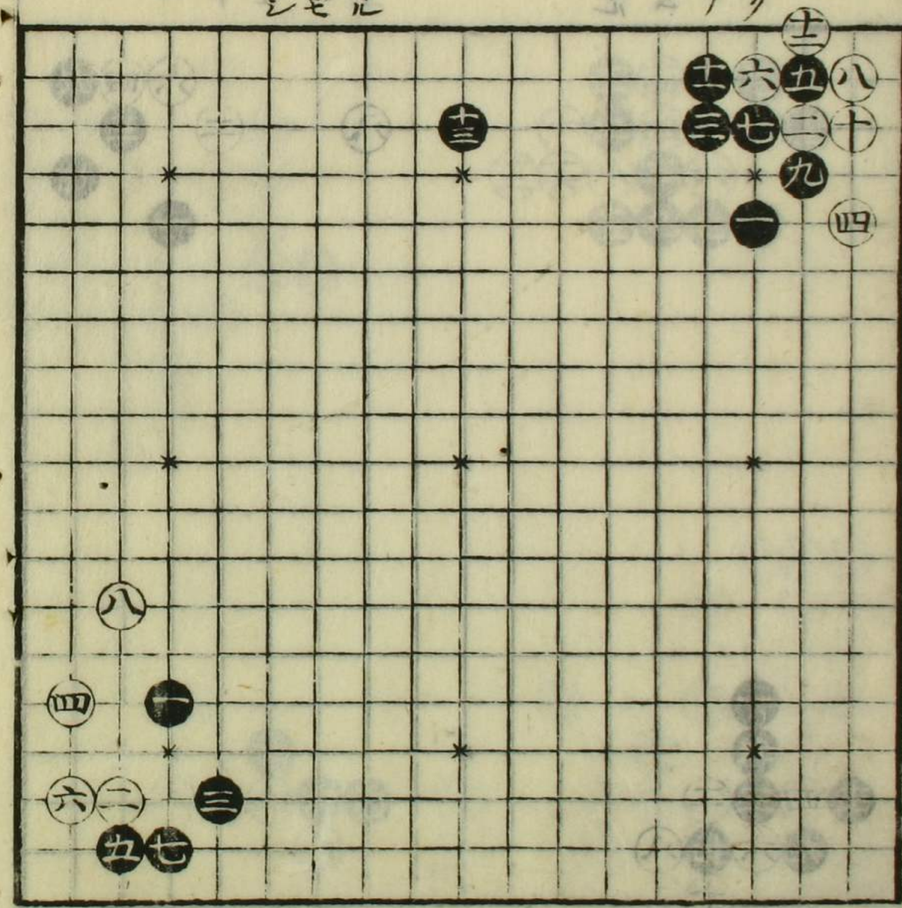
此スミ多クハ白悪シ所ニヨルヘシ

此スミ同位ナリ

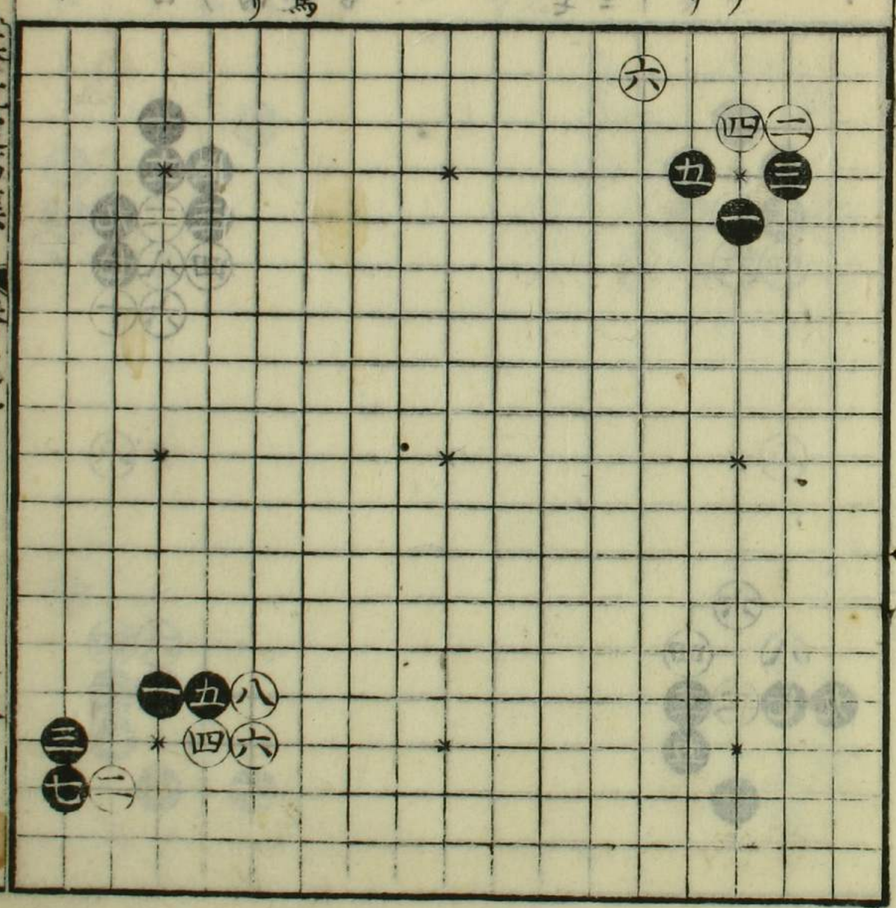
此角多クハ二トウツコトアシヽ所ニヨルヘシ

此角三ト付ルトキ四トハサム手吉シ

此角二ト深ク打コモアリ所ニヨルヘシ



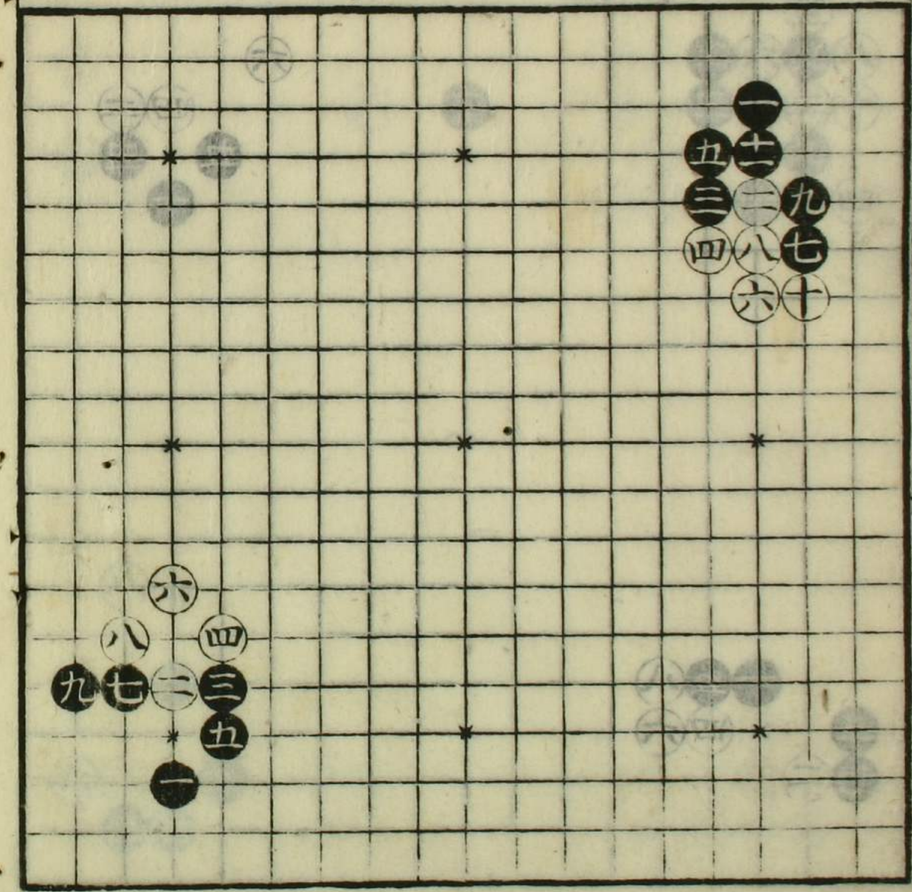
此角五ト付ルトキ六ト立ツモ所ニヨリ吉シ



此角三ト付ケルモ處ニヨリ吉シ

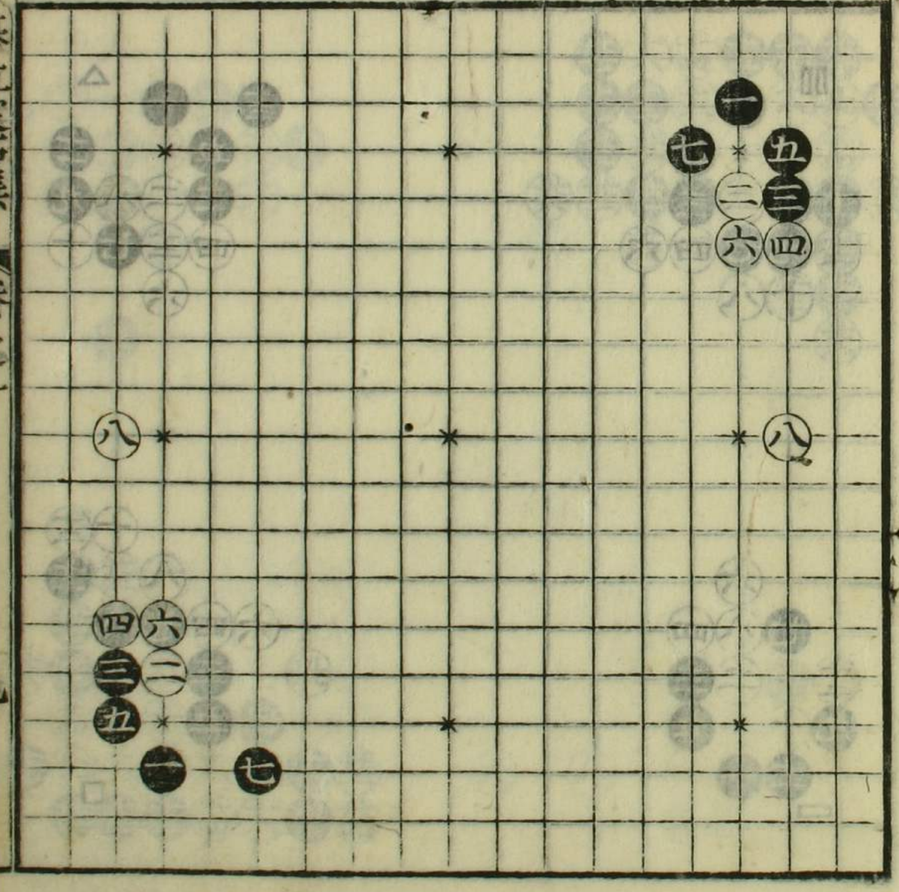
此角三ト桂馬ニウツコモ有リ處ニ奇ル

此角常ハ白
不好所ニヨリ
打コモアリ両
方トモニ如是
打コ多クハ吉



此角七ト付モ
所ニヨリ和ニ
テ面白シ

此角三ト下ヨリ
付ルモ有リ多
ハ上ヨリ付ルヿ
吉シ



此角七ト一間
飛事モアリ
可見合

△此角八ト出時九トハ子ル吉シ

□此角十ト打時十一トヨスム吉併後損アリ隙ヲ見合手ヲ可入事

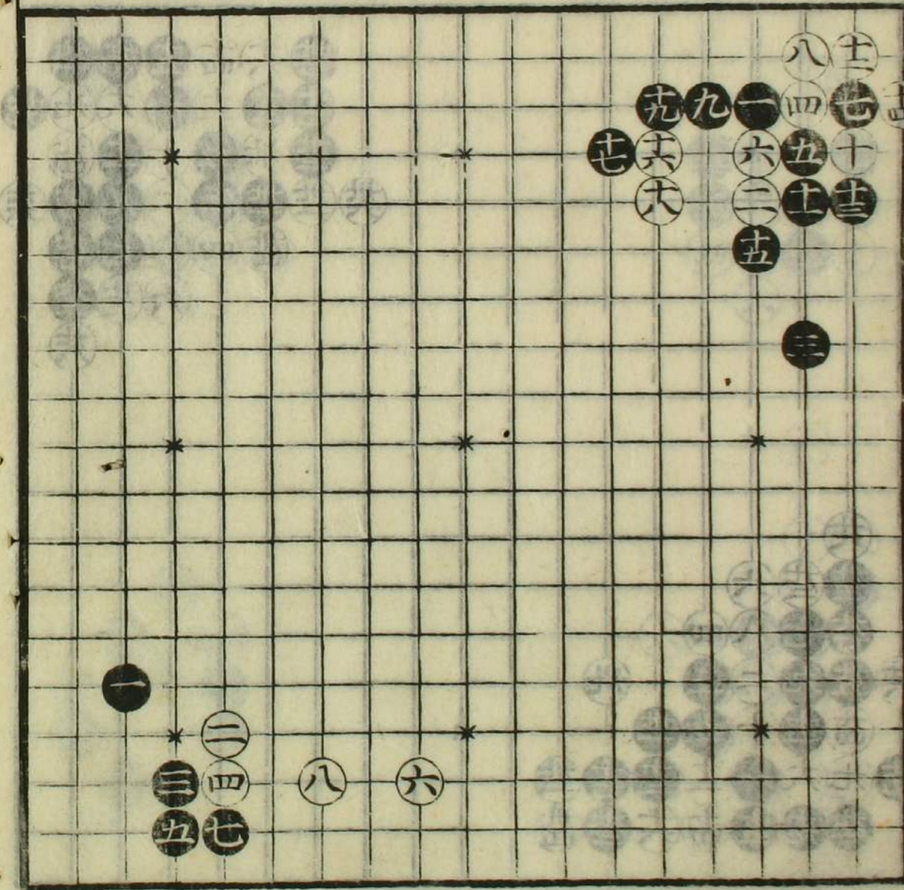
□此角六ト出手常ハアシ、所ニヨルヘシ

□此角九トハスミテ打事モアリ

此角常ハ白フンナリ所ニヨリ打事モアリ　ナ九ト

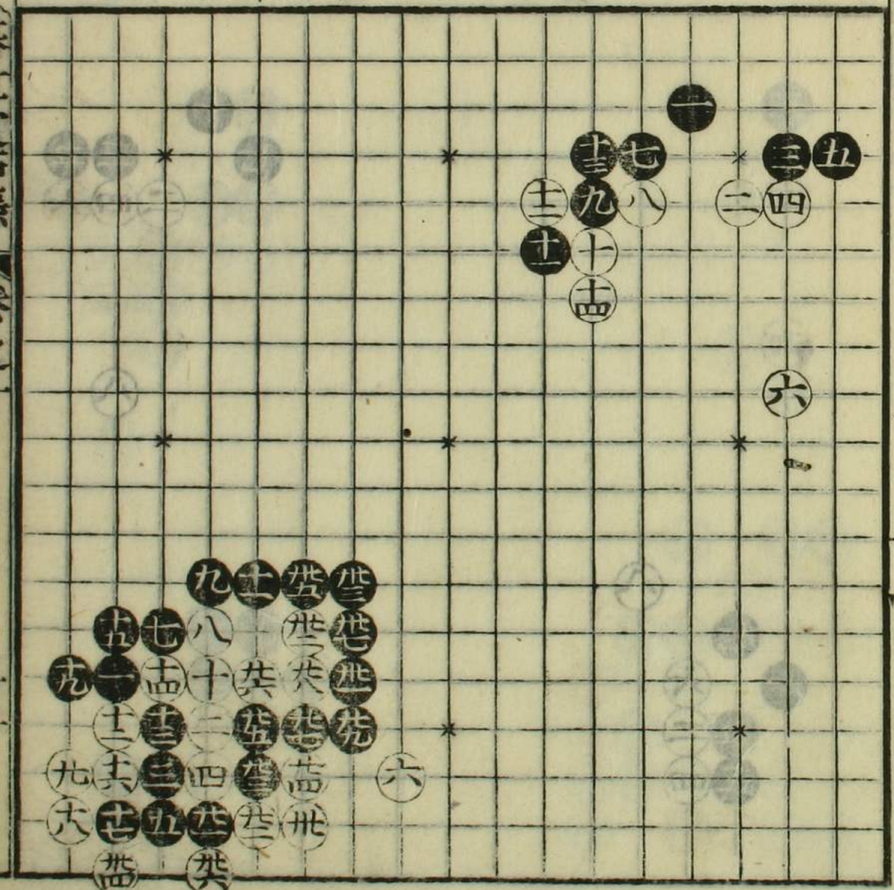
此角如此モウツコト也

此角黑面白
十七ノ手 甚
吉シ



此角コスミ
定石同位也

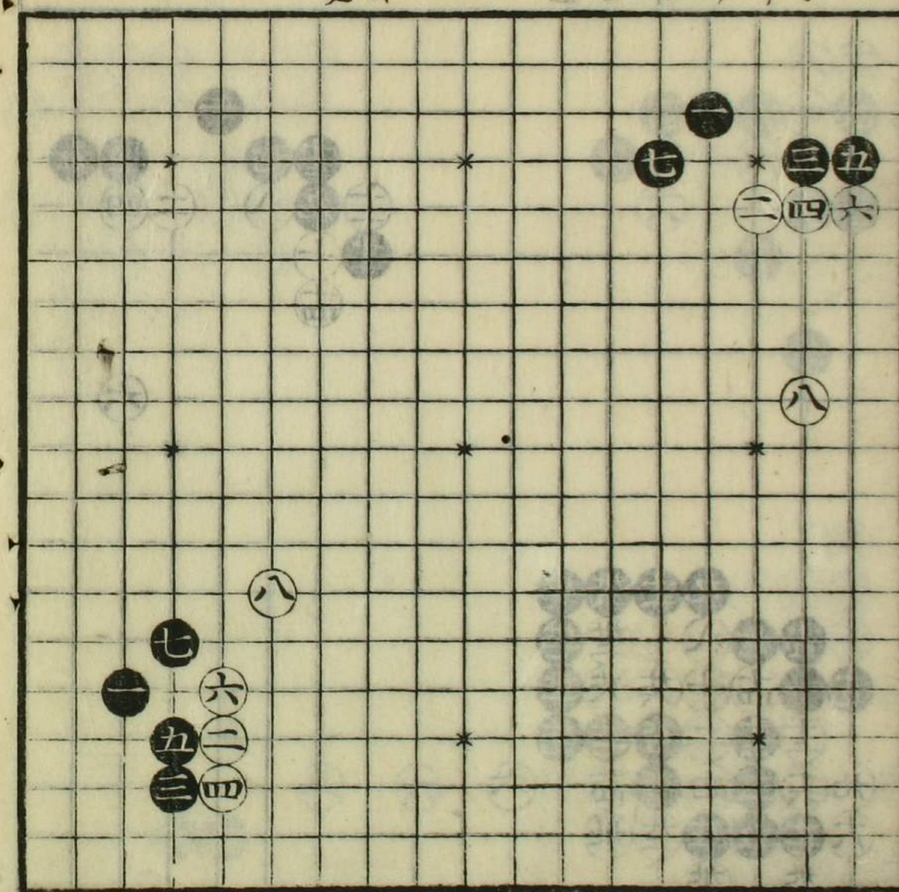
此角七トコスム
トキ極メテハト
付ルニモアラス
見合可打



此角十トモ九
トキ十一トイル
吉シ白クライ
悪シ

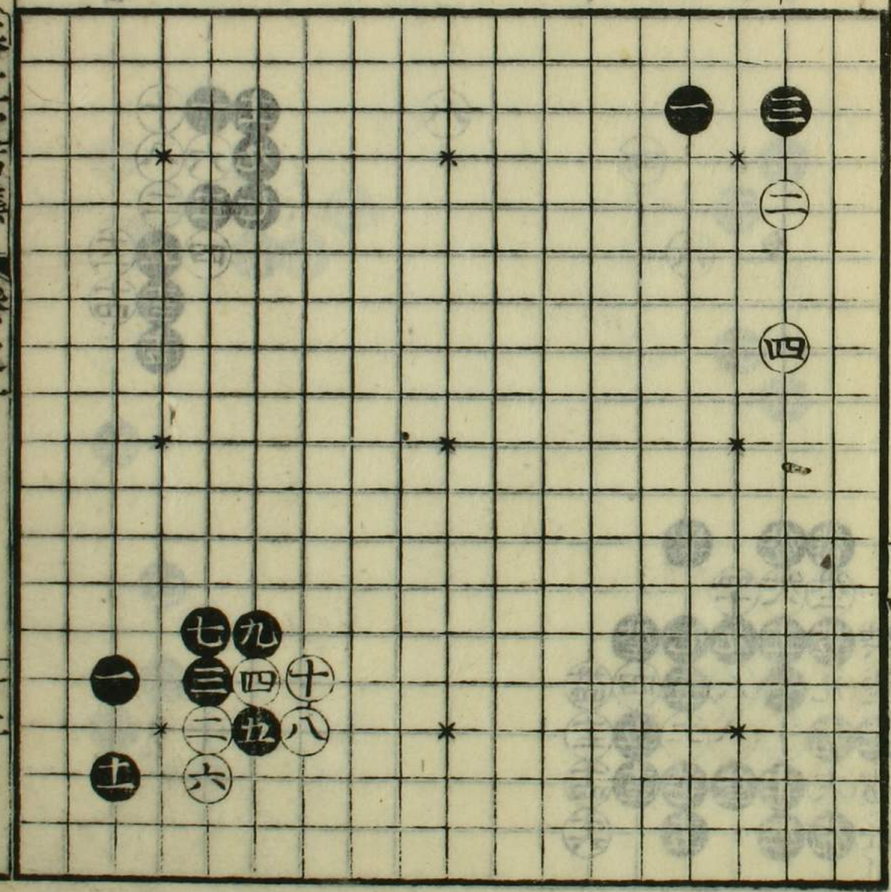
此角六ト押ル手早キ時ハ石ノ分ラシクノトル事アリ能時分見合押ヘシ

此スミヒトコスムトキハノ桂馬必可打変也



此角二ト打事マワハ悪シ所ニヨルヘシ

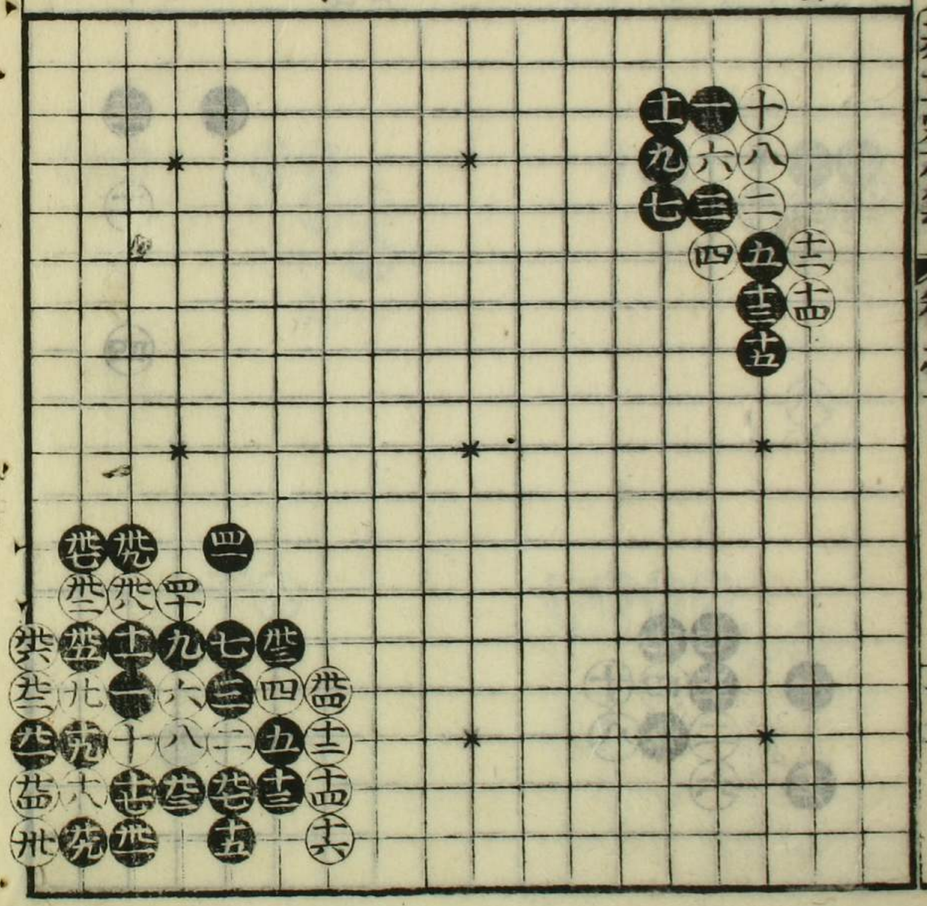
此角處ニ寄如是打コトモアリ



此角六ト打コム
手多クハアレ、
所ニヨルヘシ

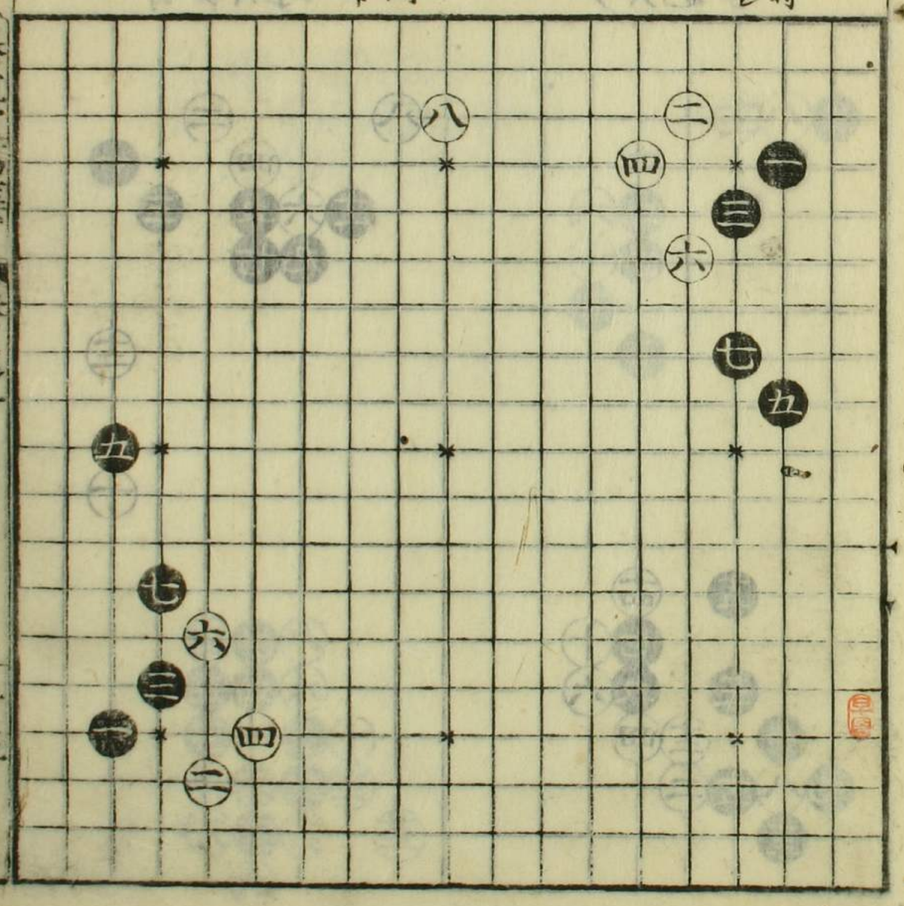
此角十二ノ手
無理ナリ字
ヤウ印置

廿五ヲカフ
廿六トル
廿八ノ

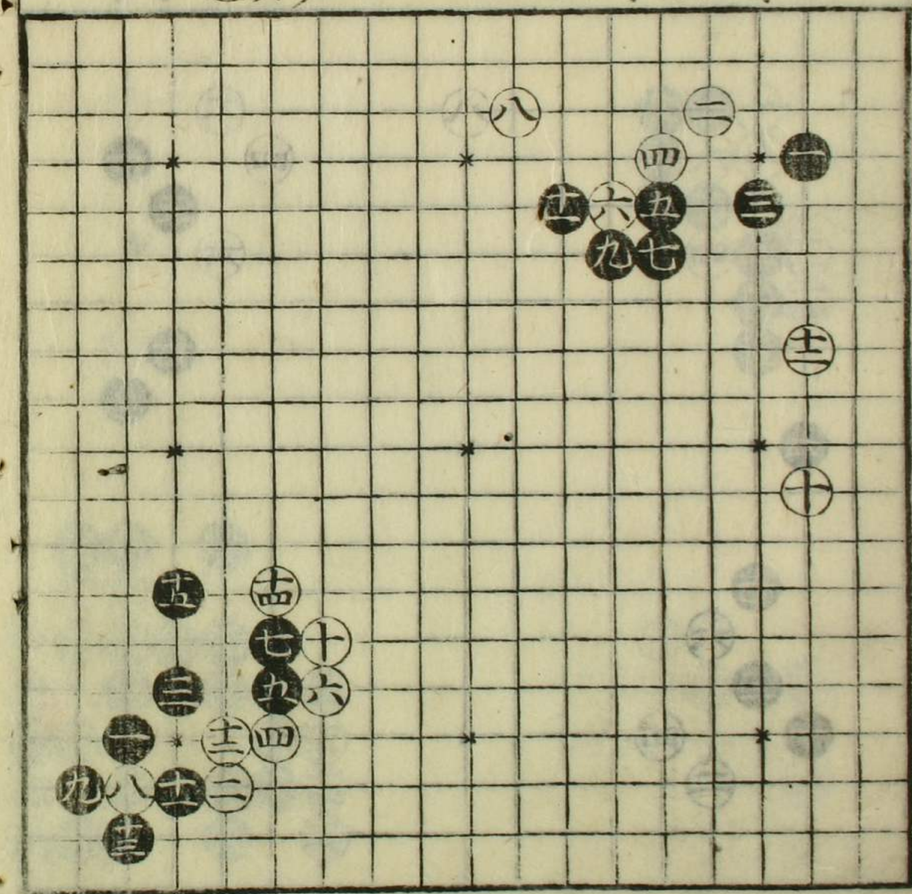


此角六ト打時
七ト請ル吉ニ

此角五ト一間
廣キ時ハ七ト
可請

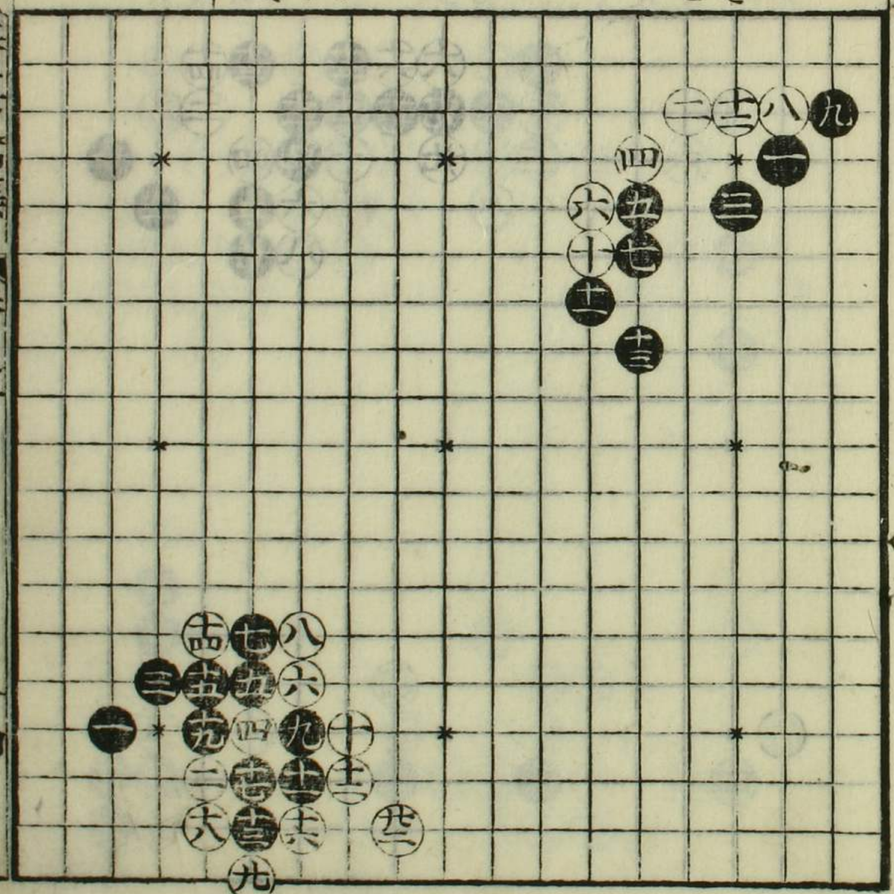


此角五ト打時ニ千ヤウノ當リ無時ハ多クハ八ト打事モヨシ



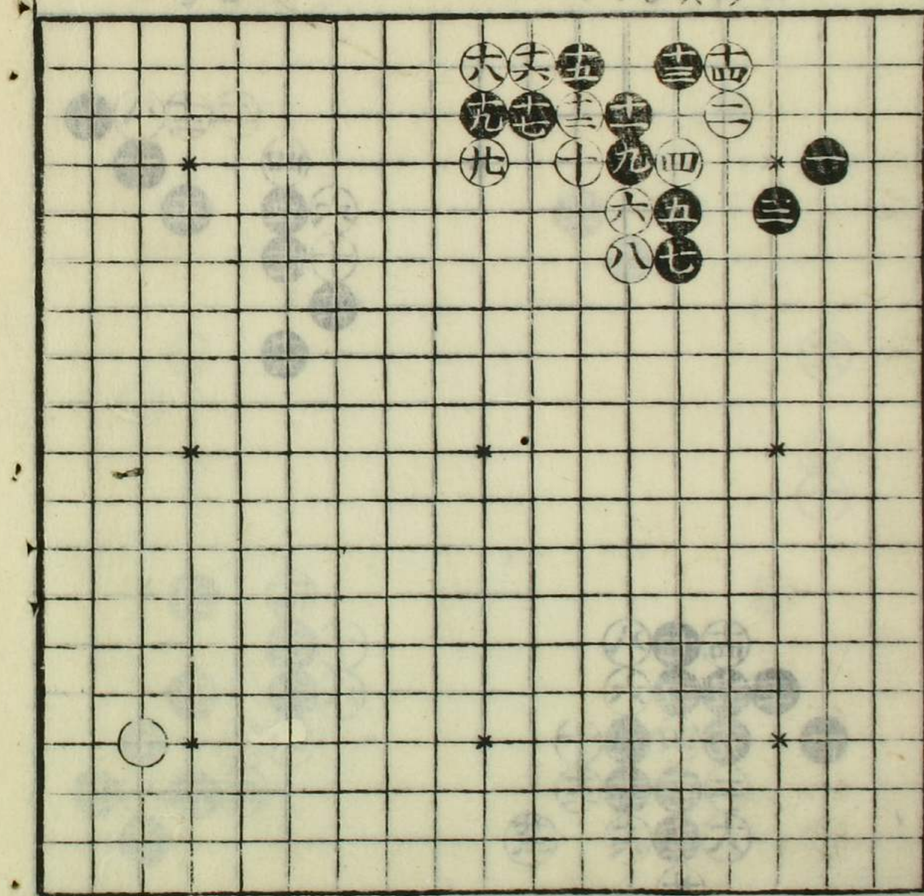
此角ニ千ヤウノアタリ無時ハ如是ニモ打也何レモ吉シ

此角十ト打モ吉シ所ノモヨウニ可寄

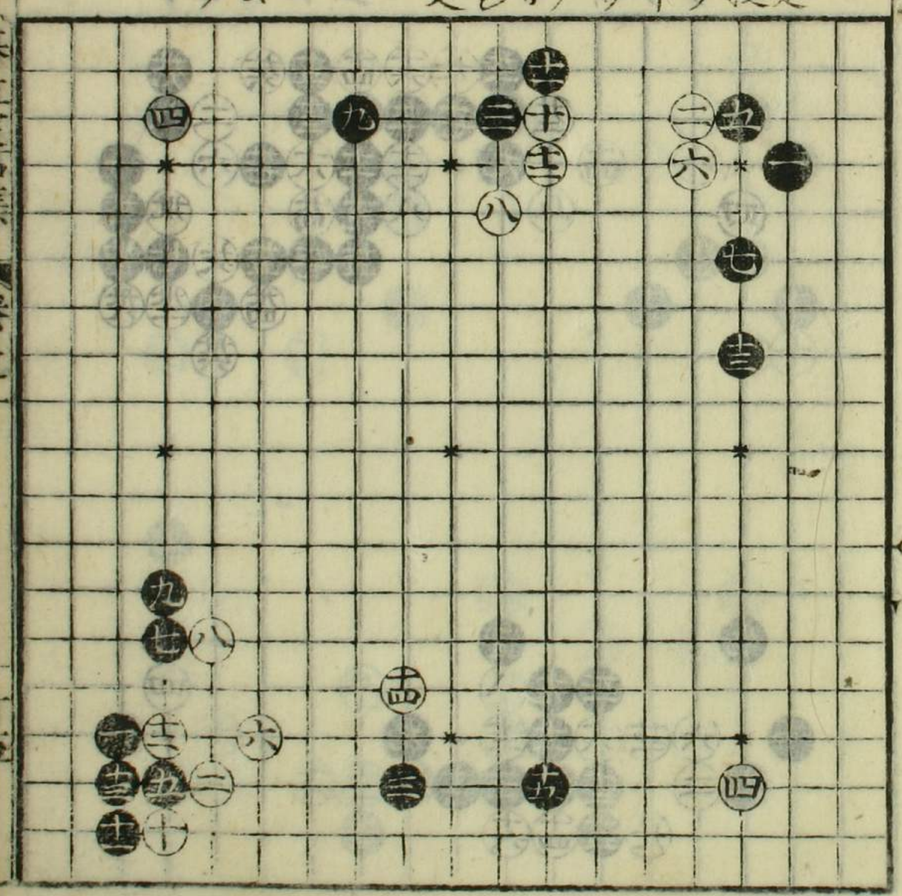


此角ニ千ヤウノアタリ無トキハ八ト押スハ損也故ニ印置也

此角印ノ當リニチヤウアタリ有時ハ九ト切アシ故ニ印置

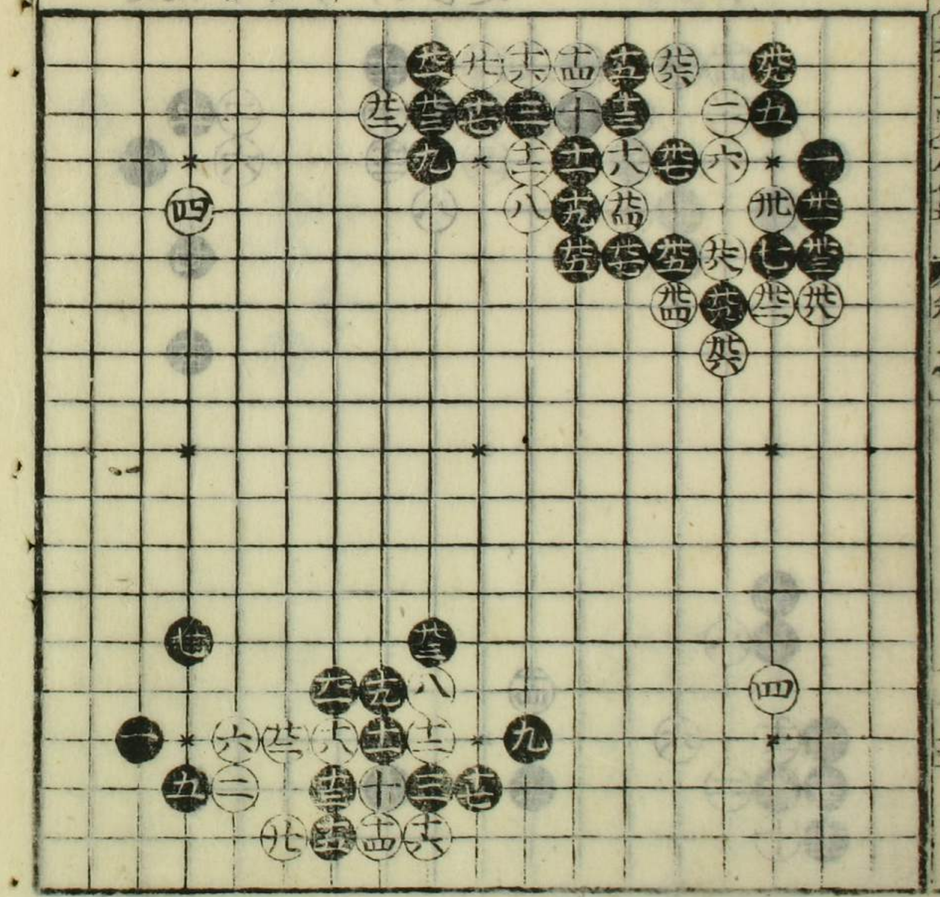


此角三間挟定石黒ヨリ三ト挟時多クハ其夢不打外ヲ打リ口傳也併モヨウニ寄其所ヲ直ニ打コモ有委シクハ末ニ出シ置尚口傳要多シ



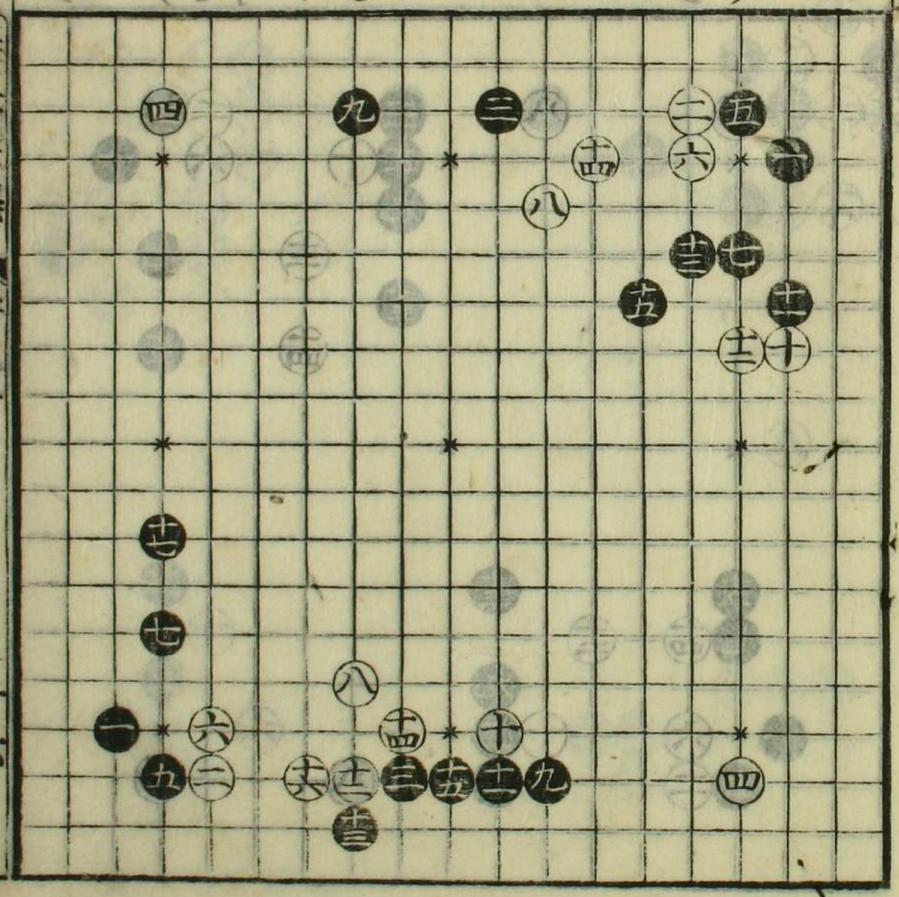
此角六トコスムトキモアリ所ニ可寄

此角黒ヨリ常ハ不好白ヨリ四ト打トキハト桂馬ニ打ヽモ有所ヨル〈シ能く見合打ヘシ



此角北ト押ウツコモアリ又如此もウツ事ト有リ

此スミ十トウツトキ十一ト付十三トノビ十五ト打事吉シ



此角白如是ミマリタル時十七ト可打

此角八ト左ヨリ
ツメテ打フモ
アリ如是打
ヘシ

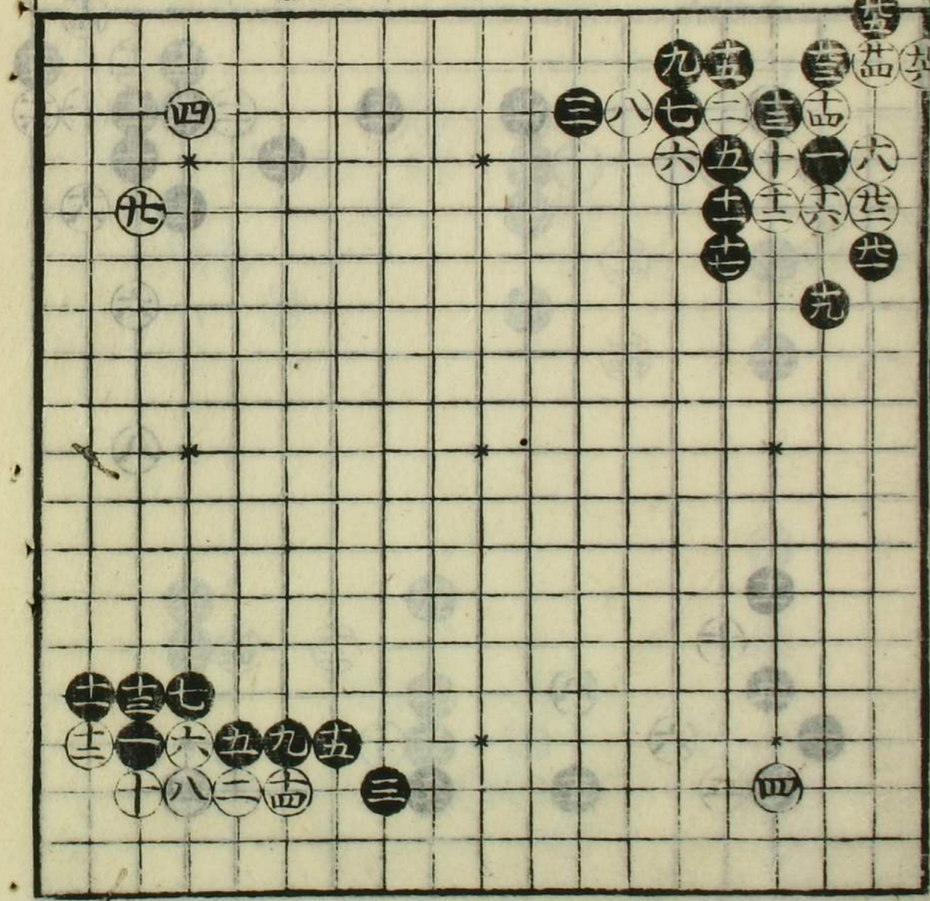
此スミ十四ト
付ルトキ十
五トノヒル吉シ

此角二間挾定
石ヨリ是モ三間
ハサミノコトクニト
挾ム時其所ヲ
不打外ヲ打フ
モアリモヨウニ
ヨリ直ニウツフ
モアリ白十ト
直ニ打事悪シ
碁中過隙ヲ
見合可打

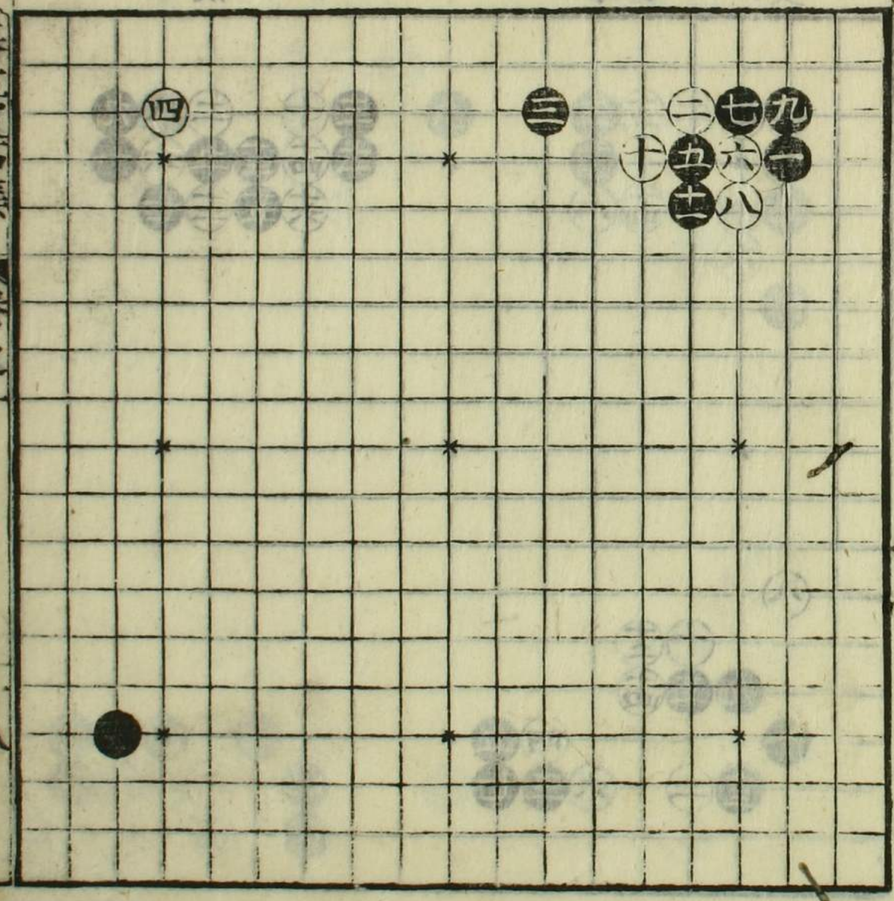
此角五トコスム
トキ六ト出ル
モ吉シ

此角黒ノ方
位少ヨシ

此スミ六トハ
子コ今手吉
同位也

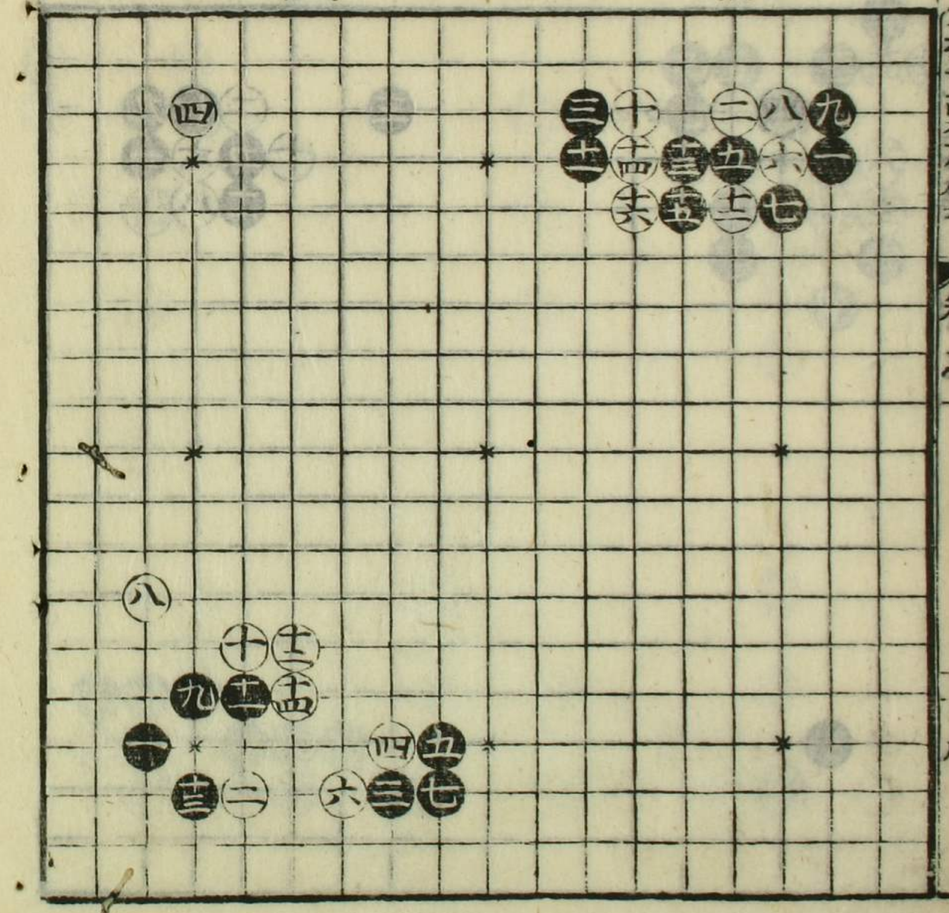


此角卯ノア
タリニ黒有
時ハ六トハ子コ
今手無理也



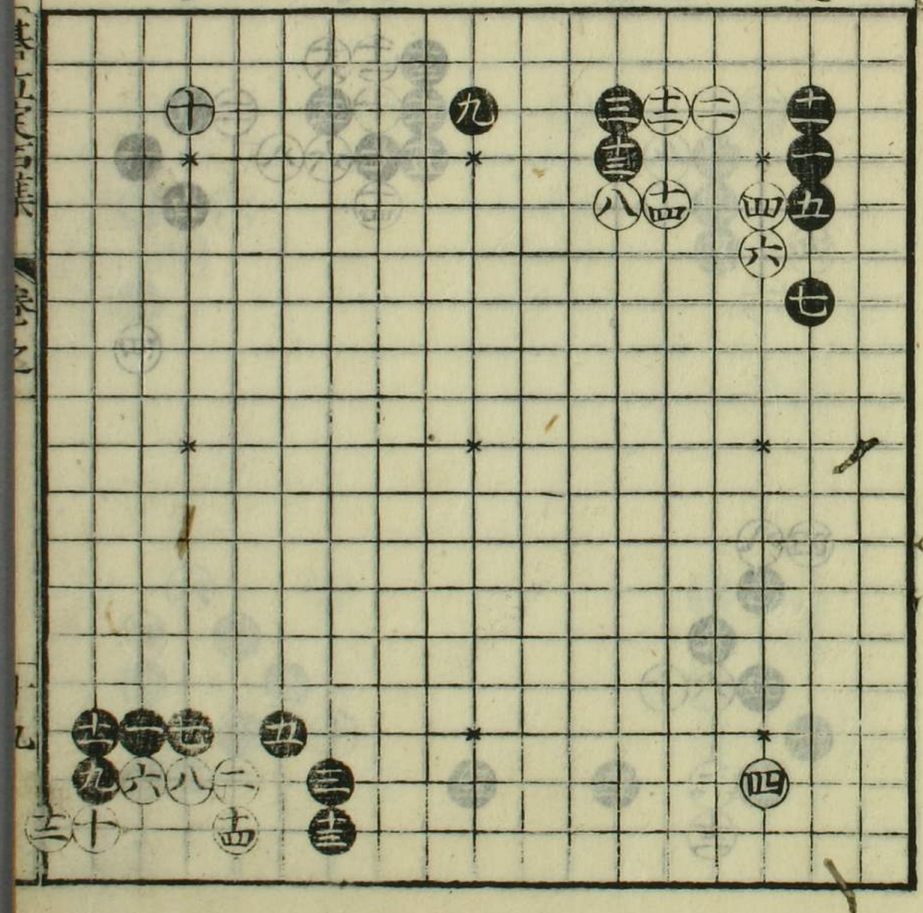
此角黒ノ二ハ
九ノ手十三ノ所
エノヒル吉シ

此スト四ト打手
處ニ寄面白
口傳也

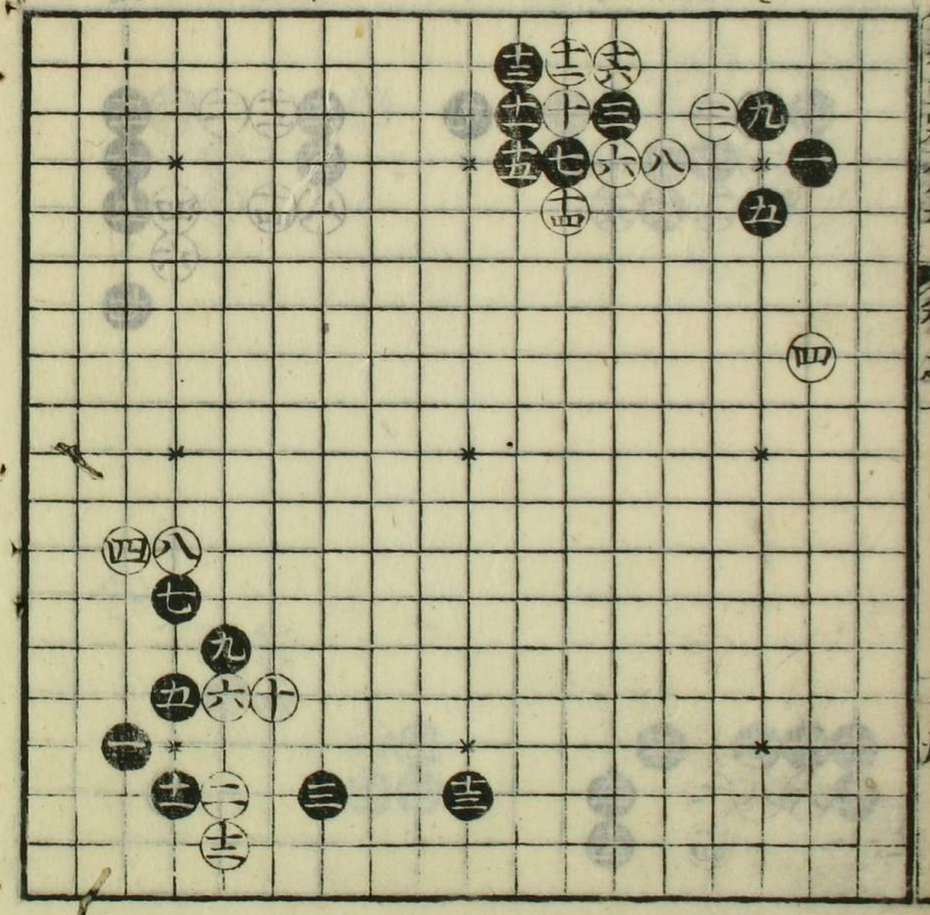


此角一間挾定
石是モ三ト挾
時多ハ外ヲ
打コアリ 併
一間挾ニハ如此
能打事故ニ
印置也

此角四トハナレ
テ打時色々
打ヤウアリ
委末ニ出置

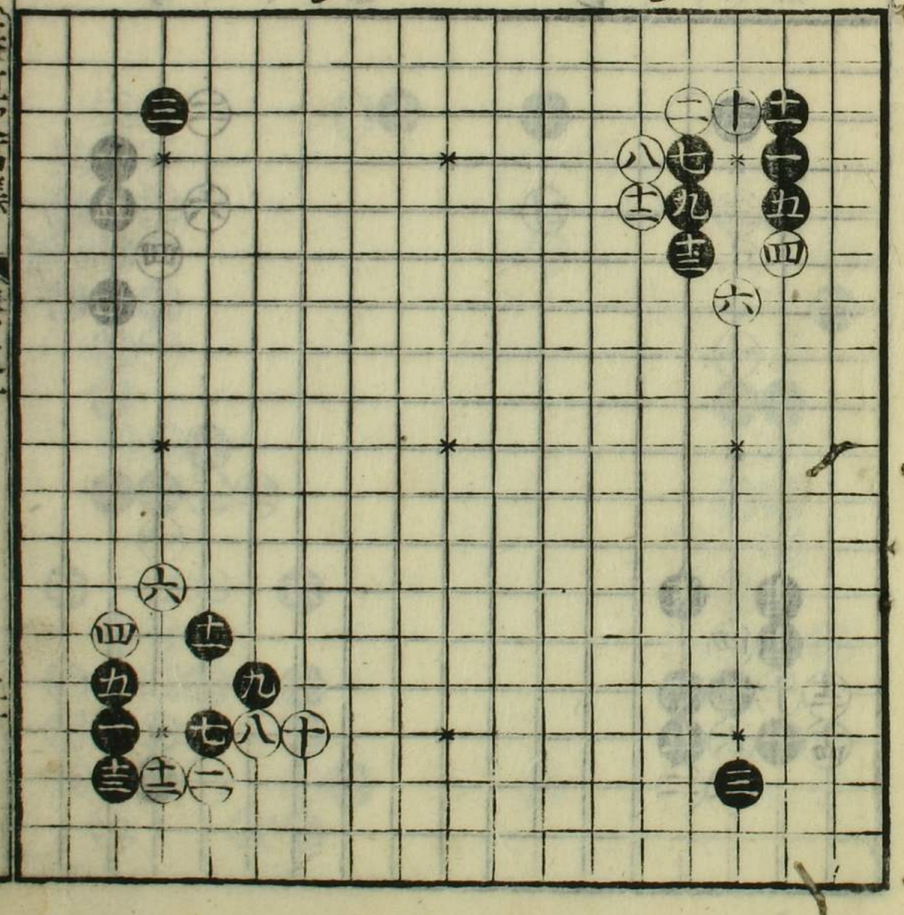


此角如是打モ
所ニヨリ面白シ



此スミニ、ソハイ
アシ、所ニ寄
ナリノ

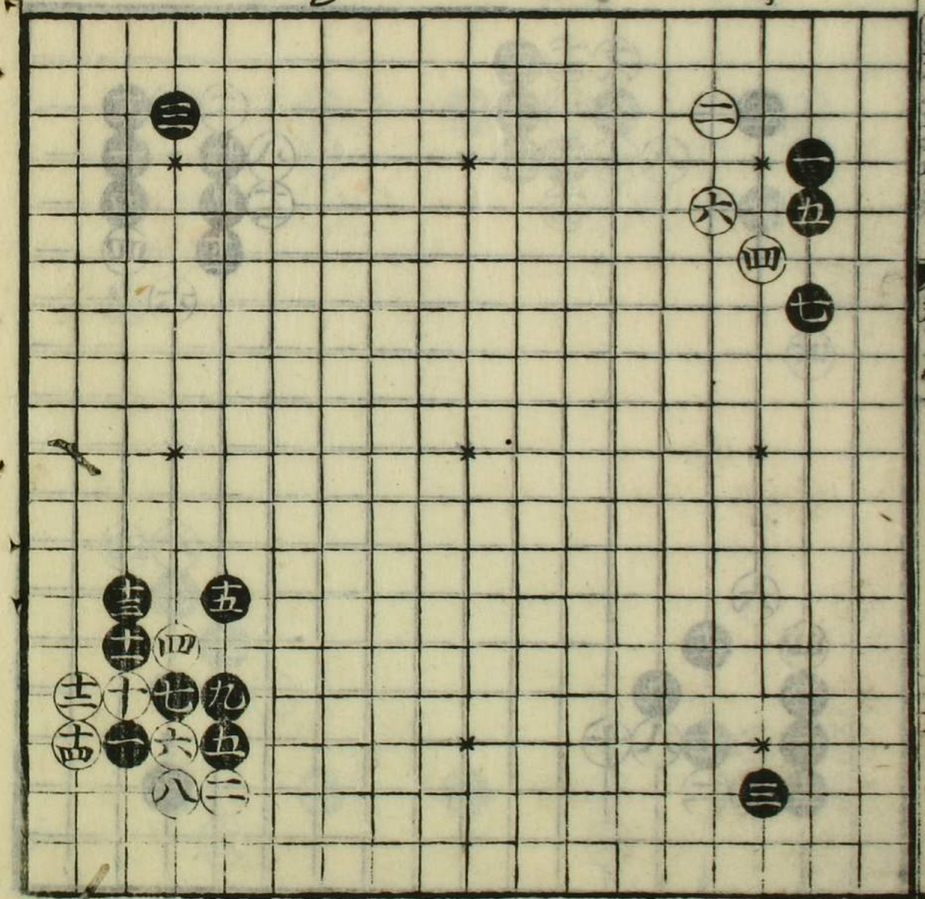
此角四ト逃ク
ウツ時ハ七ト
フキアタル吉シ



此角九ト八子ル
モ處ニ寄吉シ

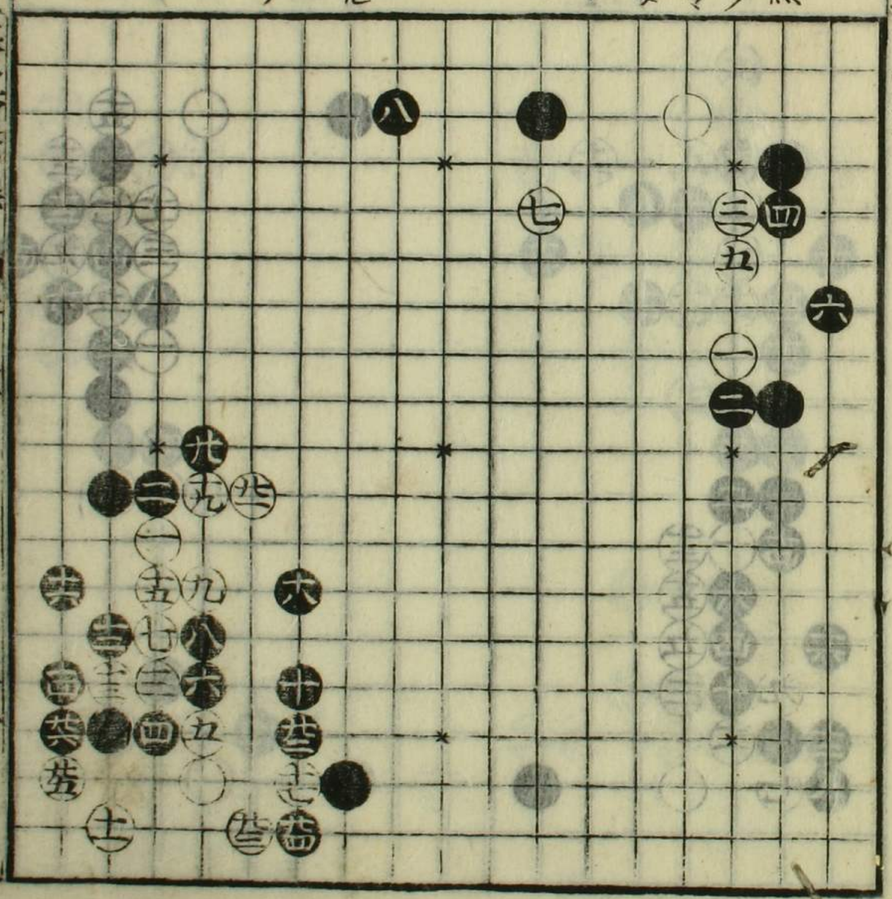
此角四トウフ時
五トウフト
言シ

此スミ黒悪シ
ワンナリ



此角如此白黒
有時黒ノ間ノ
長短ニテ色々
打方アリ委
末ニ出シヲク
可考事一口
傳也

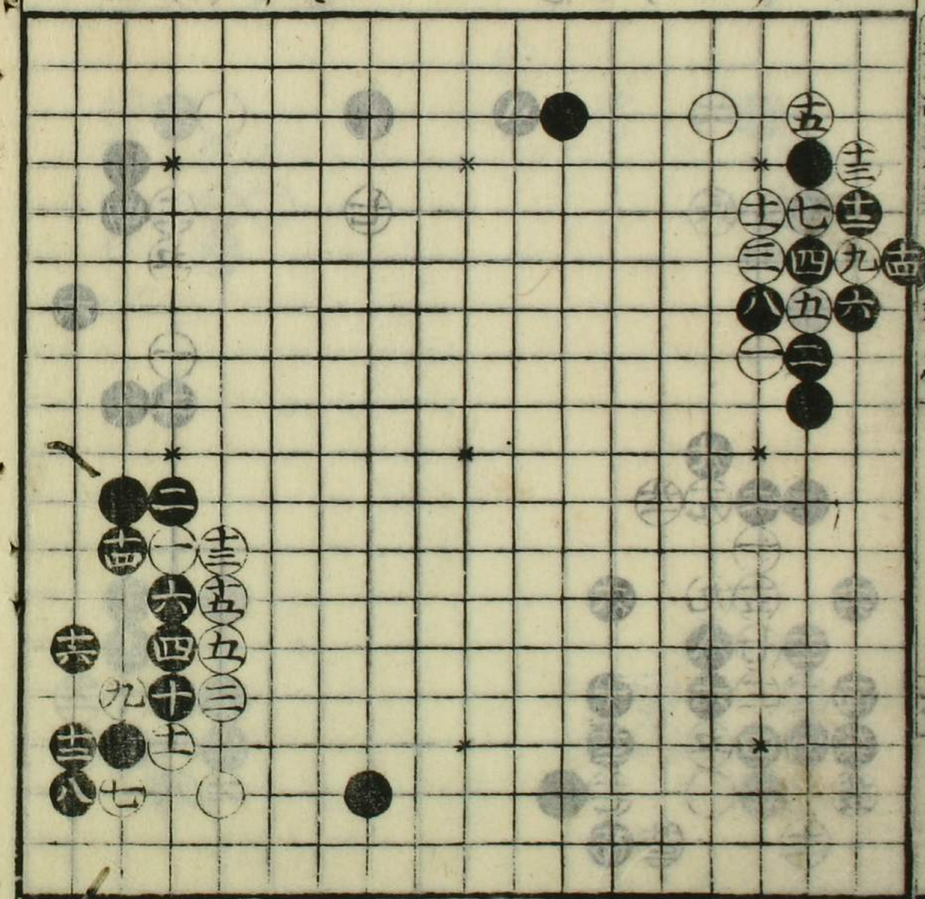
此角六ト切ル
トキタカイニ
色々ウチヤウ
アリ



十ト打ク

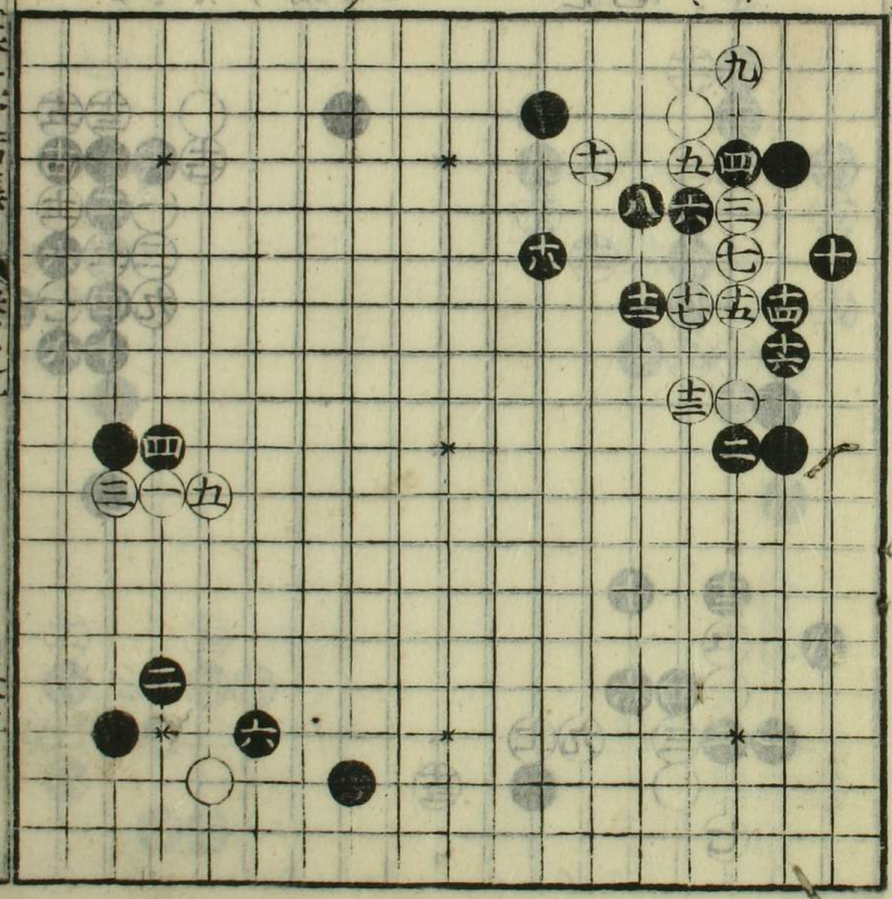
此角二ト下ヨリ押トキ三ト一間飛吉シ

此スミ三ト直ニ一間飛事アリ如斯可打



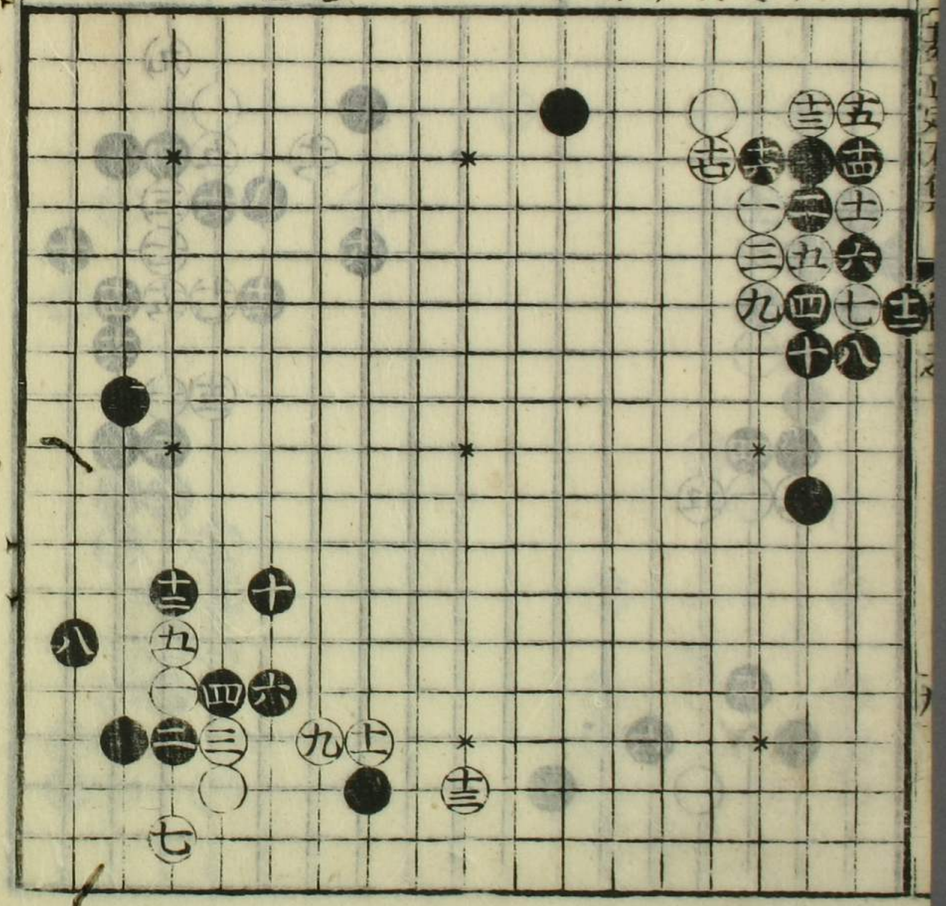
此スミ黒ノ間一ケン遠ニ能ク心ヲ付可打

此角如斯ウフコトモ吉シ



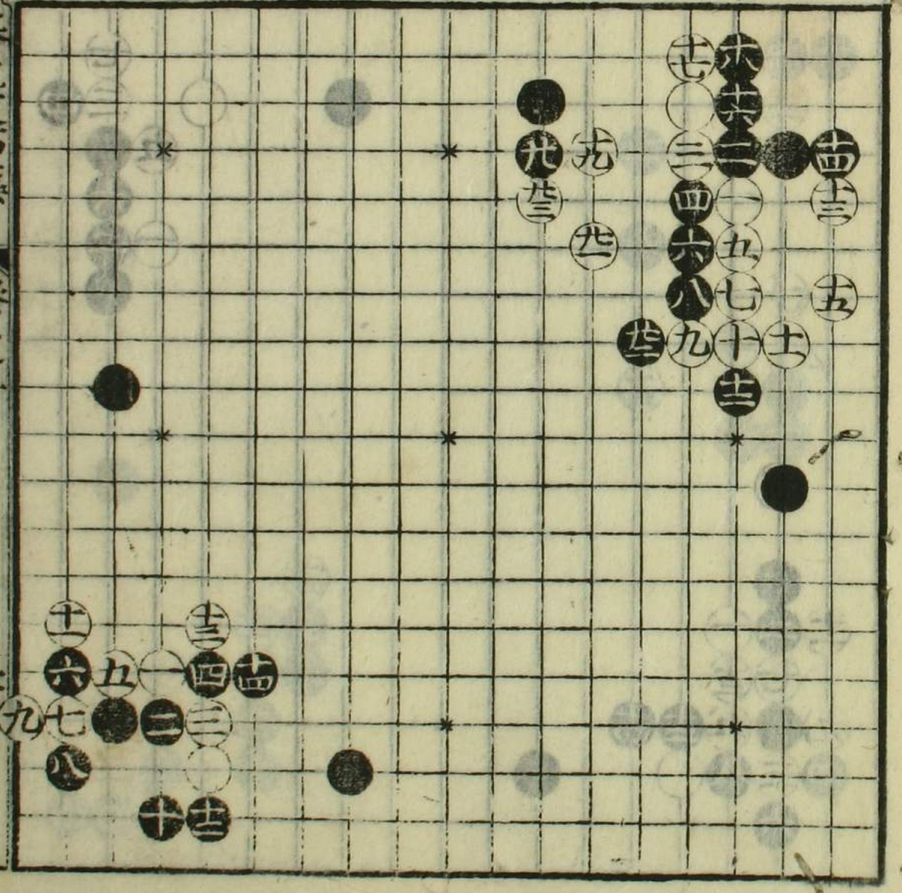
此角黒ノアヒダ又一間遠ニ故ニ一ト直ニ懸ル常ハ此石立黒堅クナルニテ白不好此所ニテハ黒カタ過位アヒ、白位吉ニ口傳

此スミ四ト切ル変吉ニ同位也



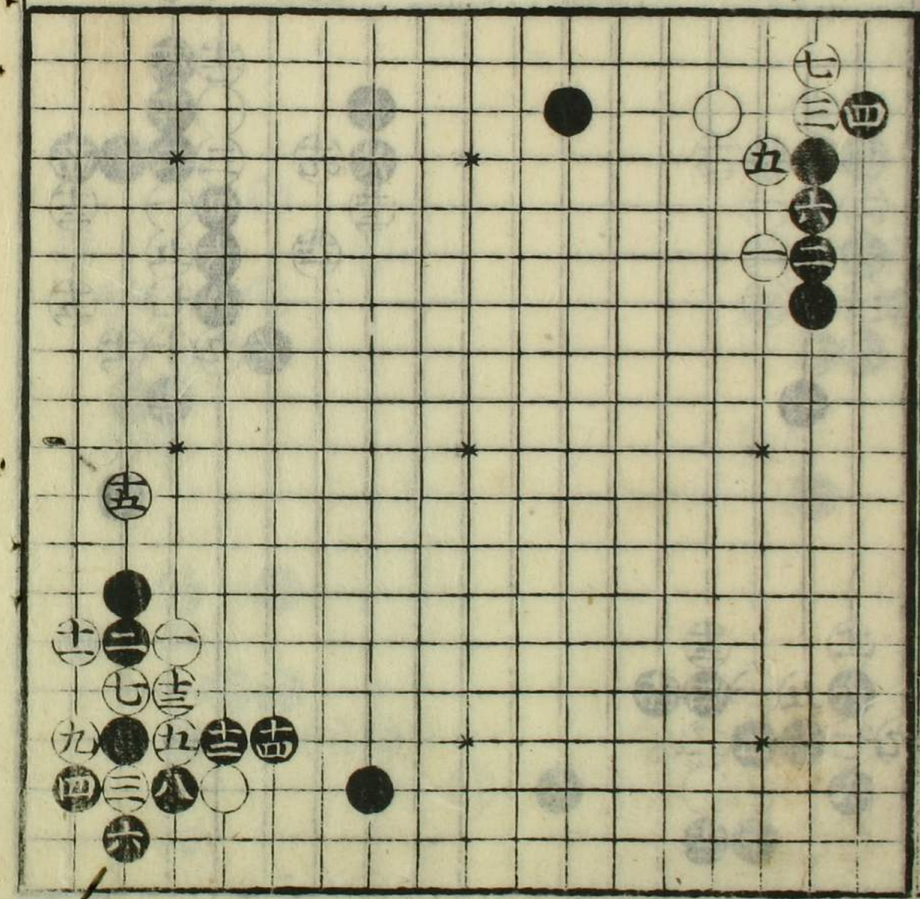
此スミムツカシキ石立也能、心ノ附可打

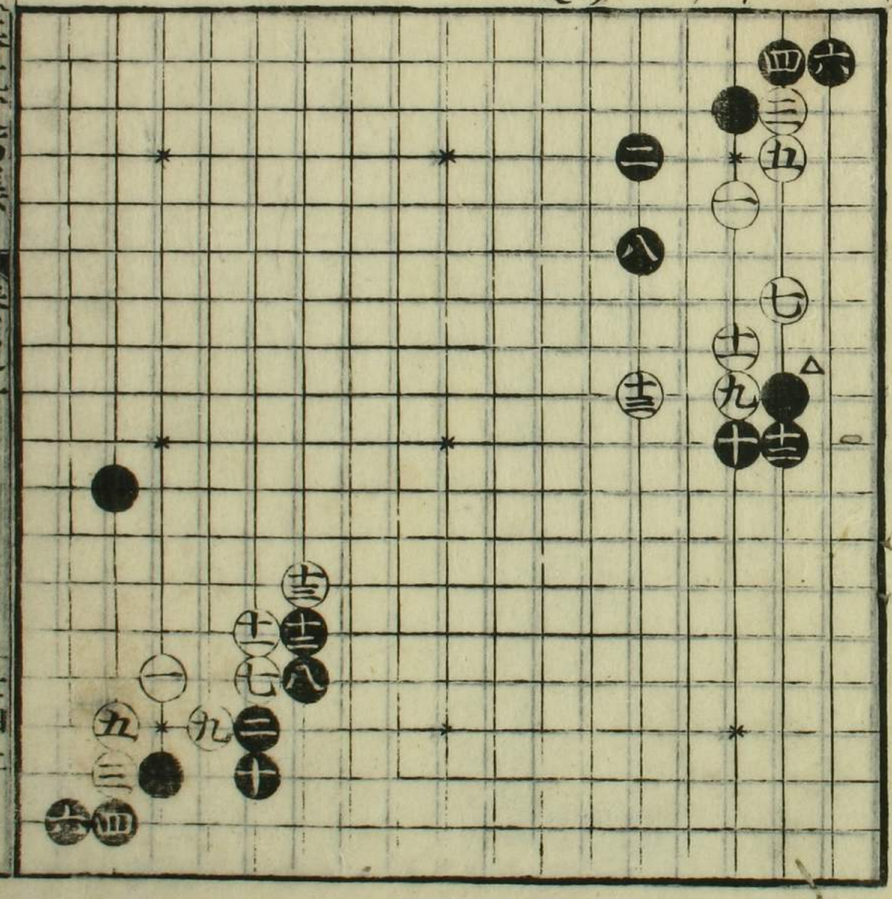
此角五ト押手常ハ不好所ニ可寄



此角黒二間ノ時両方如是打ヲヨシ

此スミ六ト八子ルトキ如斯打ヘシ黒アシ、ナック



此角△印ノ所ニ黒有時白ヨリ極テ如此大目吉黒ヨリモ多ニト桂馬ニ打更ヨシ

此角七ト附ル手多ク不打處ニ可寄